NTT docomo

optimus PAD

L-06C

取扱説明書

ドコモ　W-CDMA・GSM ／ GPRS・無線LAN方式

このたびは、「L-06C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、本書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。本書に不明な点がございましたら、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

L-06Cは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通信が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の送信内容と異なって受信される場合があります。
- 本FOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本FOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本FOMA端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「取扱説明書」をタップしてください。

本書の見かた／引きかた

本書は次のような方法で、知りたい機能や検索方法を探すことができます。

索引から	P142

機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。

表紙インデックスから	表紙

表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

目次から	P3

目的ごとに分類された目次から探します。

アプリケーション一覧から	P44

アプリケーション一覧から探します。

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-06C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載しているドコモUIMカードはFOMAカードと読み替えてください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている アプリ をタップする
ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」	ホーム画面に表示されている アプリ をタップして、表示された画面の をタップする
「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」	画面に表示されている「無線とネットワーク」をタップして、続けて「モバイルネットワーク」をタップする
を1秒以上タッチする	画面に表示されている を長めに（1～2秒間）触れたままにする

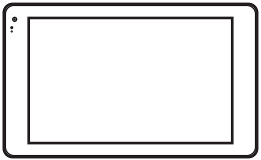
お知らせ

- 本書の操作説明は、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

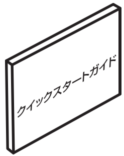
本体付属品および主なオプション品

本体付属品

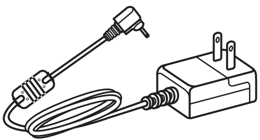
L-06C本体
（保証書、リアカバー L23を含む）



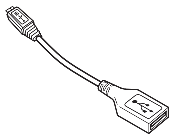
クイックスタートガイド



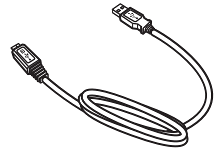
ACアダプタ L01
（保証書、取扱説明書付き）



microUSB-USB A変換アダプタ L01
（取扱説明書付き）

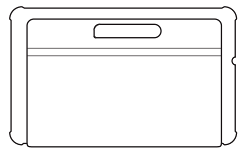


USBデータケーブル（試供品）
（取扱説明書付き）

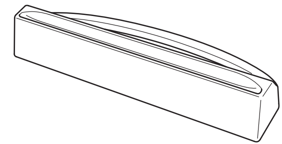


主なオプション品

チルト式レザーケース L01※
（取扱説明書付き）



ドッキングステーション L01※
（取扱説明書付き）



※ チルト式レザーケース L01とドッキングステーション L01は同時に使用できません。

その他オプション品→P118

目次

L-06Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスまたは定額データプランのご利用を強くおすすめします。
- パソコンを用いてのソフトウェア更新はできません。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 画面ロック中、画面に所有者情報が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「タブレット情報」▶「端末の状態」をタップしてください。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。

  ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「タブレット情報」をタップしてください。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P125）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。OSバージョンアップの注意事項や操作手順について、詳しくは「OSバージョンアップについて」（P126）をご参照ください。
- FOMA端末の充電端子に、充電のためACアダプタ L01接続を行った場合には、自動的に電源が入ります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではACアダプタ L01接続を行わないようご注意ください。
- FOMA端末のmicroUSB接続端子に、USBデータケーブル（試供品）接続を行った場合は、自動的に電源が入ります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではUSBデータケーブル接続を行わないようご注意ください。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）はご使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合は、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックまたはパスワードを設定しＦＯＭＡ端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「現在地情報とセキュリティ」（P56）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどのgoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本FOMA端末は音声通話およびデジタル通信（テレビ電話・64Kデータ通信）には対応しておりません。
- 本FOMA端末は内蔵電池の取り外しはできません。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」（P83）、もしくは「外部機器接続」（P89）をご参照ください。

  また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。

- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。FOMA定額データプランでのご利用を強く推奨します。
- テザリングのご利用には、spモードのご契約が必要となります。
- Wi-Fiテザリングの初期設定では、外部機器と携帯電話間のセキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- アプリケーションによっては、▶「ヘルプ」をタップしても、ヘルプが正しく表示されない場合があります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。

分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の７項目に分けて説明しています。

FOMA端末、アダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用するアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子、HDMI端子）に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながら長時間使用すると、FOMA端末やアダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

火の中に投下しないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。
FOMA端末の充電端子に、充電のためACアダプタ L01接続を行った場合には、自動的に電源が入ります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではACアダプタ L01接続を行わないようご注意ください。
FOMA端末のmicroUSB接続端子に、USBデータケーブル（試供品）接続を行った場合は、自動的に電源が入ります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではUSBデータケーブル（試供品）接続を行わないようにご注意ください。
ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

通知音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。

心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には強化ガラス、カメラのレンズの表面にはプラスチックパネルを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠ 注意

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。

また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となったFOMA端末は、ドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、電池の回収を行っている市町村の指示に従ってください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

- 各箇所の材質について→材質一覧（P14）

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

指示

内蔵電池内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

3D映像の視聴について

⚠ 注意

禁止

光過敏の既往症、心臓疾患、体調不良、睡眠不足、疲れた状態、酒気を帯びた方は3D映像を視聴しないでください。

病状などの悪化の原因となることがあります。

指示

3D映像の視聴中に、画像が二重に見えたり立体感を感じにくくなったりした場合は、使用を中止してください。

目の疲れの原因となることがあります。

指示

3D映像の視聴中に、疲労感や不快感（乗り物酔いに似た症状など）を感じた場合は、使用を中止してください。
体調不良の原因となることがあります。適度な休憩をとってください。
電車や自動車の中など、画面が揺れやすい環境では特に注意してください。

指示

3D映像の視聴は、7歳以上を目安にしてください。
子供が視聴する場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。
保護者の管理のもと視聴させ、目の疲れが無いかご注意ください。

指示

3D映像の視聴時は、30分の視聴を目安に、適度に休憩をとってください。
長時間の視聴により、目の疲れの原因となることがあります。

指示

3D映像の視聴時は、画面の正面から視聴してください。
目の疲れの原因となることがあります。

材質一覧

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイパネル	強化ガラス	簡単洗浄コーティング
外装（側面）	PA+GF+MG	UVコーティング
ダンパー（側面）	PC+GF+TPE	
バッテリーカバー	PC+GF	SFコーティング
音量左／右キー	PC+TPU	UVコーティング
電源キー	PC+TPU	UVコーティング
外装裏面、リアカバー	PC+GF	
リアカメラレンズパネル	アクリル樹脂	
フラッシュパネル	アクリル樹脂	
ドッキングステーション端子（充電用）	PA+SUS+C3604BD, Ni,Au,Ag	メッキ処理
ドッキングステーション端子（USB接続用）	PA+SUS+C3604BD, Ni,Au,Ag	メッキ処理
スピーカーグリル	STS	PVDコーティング
リセットボタン	PC	
ドコモUIMカードスロット	コルソン合金＋ステンレス＋リン青銅＋LCP樹脂	メッキ処理
ネジ	SWRCH10A	Zn3+Black
アンテナ	PC	

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **水をかけないでください。**
FOMA端末、アダプタ、ドッキングステーション、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **FOMA端末などに無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（microUSB接続端子、イヤホンマイク端子、HDMI端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **アダプタ、ドッキングステーションに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

FOMA端末についてのお願い

■ **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ **極端な高温、低温は避けてください。**
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**

■ お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ microUSB接続端子やイヤホンマイク端子やHDMI端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。
故障、破損の原因となったりします。

■ 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 内蔵電池は消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。

■ 内蔵電池を保管される場合は、次の点にご注意ください。
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■ 次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ 充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■ 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

ドコモUIMカードについてのお願い

■ **ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**

■ **他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**

■ **IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**

■ **お手入れは､乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

■ **お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**

■ **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失、故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。

■ **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ **FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。**

■ **Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

■ **周波数帯について**
FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の銘版シールに記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



2.4	：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■	：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線ＬＡＮアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

注意

■ **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

■ **通信中は、FOMA端末を身体から15mm以上離してご使用ください。**

3D映像の視聴について

■ **3D映像の見え方については個人差があります。**

■ **3D映像を視聴する際は、ディスプレイと両目を平行な状態にしてください。**

ご使用前の確認と設定

ドコモUIMカードについて

ドコモUIMカードとは、お客様の情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードが本FOMA端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。ドコモUIMカードを挿入または取り出す前には、必ずFOMA端末の電源を切り、ACアダプタケーブルも取り外してください。

お知らせ

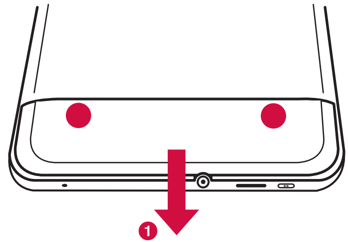
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）はご使用できません。FOMA カード（青色）をお持ちの場合は、ドコモショップ窓口でお取り替えください。

ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P58）をご参照ください。

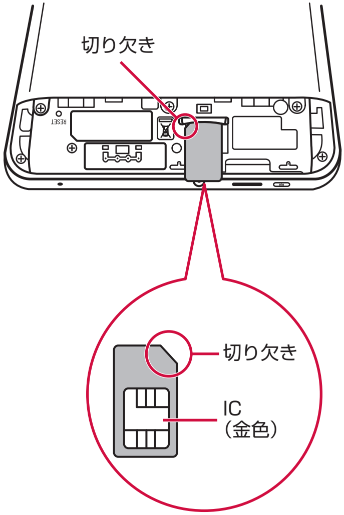
ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーの●部分を押しながら、矢印（❶）の方向に押してリアカバーを取り外す



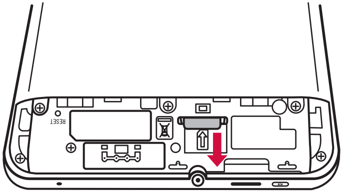
2 ドコモUIMカードの金色のIC面を下に向けて、固定されるまで奥に差し込む

- 「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。



ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、ドコモUIMカードをいったん奥まで押し込み、ロックを外してから、ドコモUIMカードを取り出す



充電のしかた

内蔵電池の寿命について

- 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、内蔵電池の寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。内蔵電池の交換につきましては、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

充電について

- 充電をするときは、必ず付属のACアダプタ L01をご使用ください。詳しくはACアダプタ L01の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ L01はAC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

  渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 内蔵電池が空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 電源オフ時に充電を開始すると、FOMA端末の電源がオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。
- USBデータケーブル(試供品)を使ってパソコンに接続しても充電されません。
- 充電が完了したら、必ず電源コードを抜いてください。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は内蔵電池から電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度ACアダプタ L01から外し、改めてセットしてください。

充電時間（目安）

以下は、内蔵電池が空の状態から充電したときの時間（目安）です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

付属のACアダプタ L01	約310分

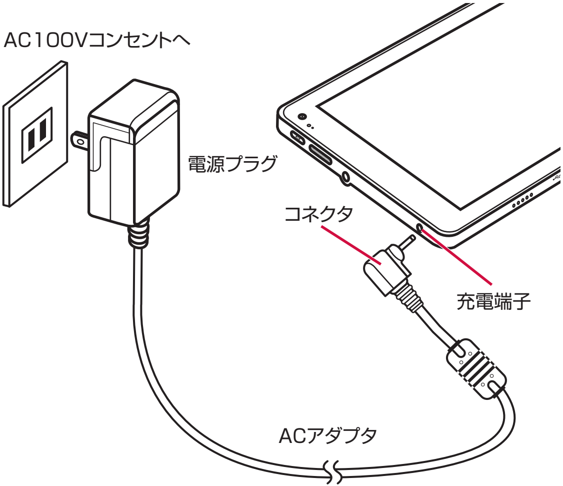
利用可能時間（目安）

以下は、十分に充電したときの使用時間（目安）です。使用時間は、使用環境や内蔵電池の状態により異なります。詳しくは、「主な仕様」（P129）をご参照ください。

連続待受時間	3G	静止時（自動）：約900時間
		移動時（3G固定）：-
		移動時（自動）：約690時間
	GSM	静止時（自動）：約750時間

ACアダプタで充電する

付属のACアダプタ L01を使って充電する方法を説明します。



1 ACアダプタのコネクタをFOMA端末の充電端子に差し込む

2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

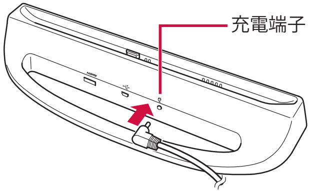
- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ のようにアニメーション表示されます。
- 内蔵電池がフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。

3 充電が終わったら、FOMA端末からACアダプタのコネクタを取り外す

4 ACアダプタのプラグを電源コンセントから取り外す

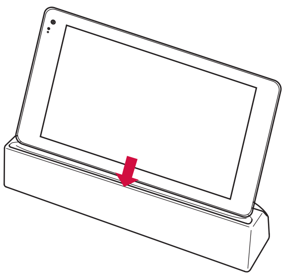
ドッキングステーションで充電する

1 ACアダプタのコネクタをドッキングステーション背面の充電端子に差し込む



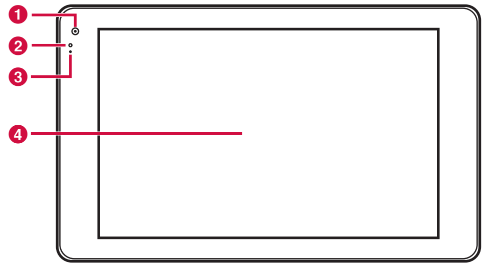
2 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

3 FOMA端末をドッキングステーションへ矢印の方向に差し込む



各部の名称と機能

各部の名称

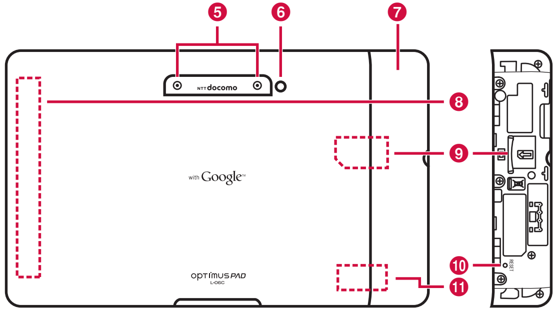


❶ インカメラ

❷ 照度センサー：周りの明るさを検知して、バックライトの明るさの増減を自動的に調節します。

❸ インジケーターLED：バックライトオフの状態で、Email、GmailおよびGoogleトークからのメッセージを受信したときに点滅します。

❹ ディスプレイ（タッチスクリーン）

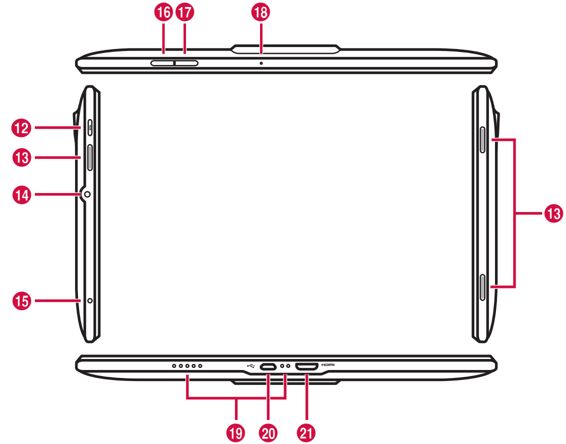


⑤ メインカメラ
⑥ フラッシュ
⑦ リアカバー
⑧ FOMAアンテナ※
⑨ ドコモUIMカードスロット部
⑩ リセットボタン：本FOMA端末の動作が不安定になったり、操作できなくなったりした場合に、リセットボタンを押して再起動します。
⑪ GPSアンテナ部※

※ アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通信をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。
- リセットボタンを押しても、設定は初期化されません。
- リセットボタンを押して電源を切ると、操作途中のデータは保存されません。



⑫ 電源キー／画面ロックキー
⑬ スピーカー
⑭ イヤホンマイク端子
⑮ 充電端子
⑯ 音量キー（左）
⑰ 音量キー（右）
⑱ マイク
⑲ ドッキングステーション端子
⑳ microUSB接続端子
㉑ HDMI端子（typeC）

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを1秒以上押し続ける



2 を外の円にドラッグしてキーロックを解除する

お知らせ

- キーロック画面は、電源を入れたとき、またはバックライトを点灯にしたときに表示されます。
- PINにより画面ロックを設定している場合は、電源を入れるとPIN入力画面が表示されます。PINを入力して、「OK」をタップしてください。PINの入力ミスを訂正するには、をタップします。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「OK」

バックライトを点灯する

FOMA端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にしてキーロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 電源キーを押す

- キーロック画面が表示されます。なお、バックライトが消灯の状態でも、アラーム鳴動時など自動的に点灯されることがあります。

お知らせ

- バックライト点灯中に電源キーを押すと、画面がロックします。
- バックライトが消灯されるまでの時間は設定できます。詳しくは「画面」（P56）をご参照ください。
- 画面ロック解除パターンを設定している場合、画面ロックを解除する前にパターンの入力が求められます。画面ロック解除パターンを作成する方法と解除する方法については、「現在地情報とセキュリティ」（P56）をご参照ください。

タッチスクリーンの操作

本FOMA端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作が行えます。

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に２度続けて軽く触れる
- タッチ：画面に長く触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：２本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：２本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむように指を近づける

項目を開く

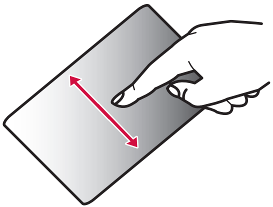
1 **項目をタップする**

チェックマークを付ける／外す

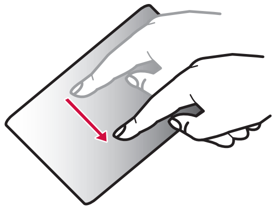
1 **チェックボックスがある項目をタップする**
- チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。
- チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。



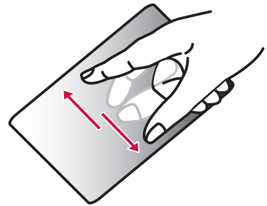
ドラッグすると画面がスクロールします。



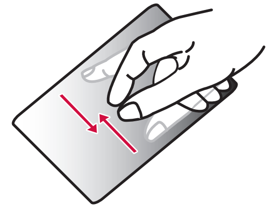
スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては、画面の文字が小さくて見にくいとき、表示を拡大することができます。また、拡大した状態から全体表示とするため縮小することもできます。



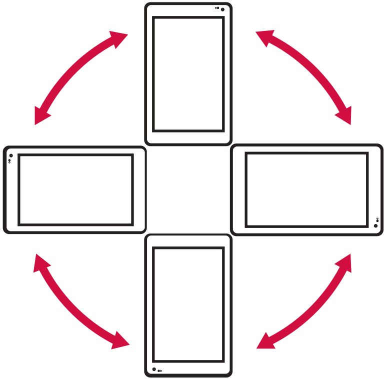
ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。



ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

画面の表示方向を変更する

本FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。また、上下を逆さにしても画面表示は切り替わります。



お知らせ

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。
- ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「画面」をタップし、「画面の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、FOMA端末で使用する言語や日時の設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。
- 「スキップ」をタップすると該当の設定を省略できます。

1 **電源キーを 1 秒以上押し続ける**

2 **言語を選択して、「開始」**

3 **Google位置情報サービスの使用を許可するかどうかを設定して、「次へ」**

4 **「日時の設定」画面が表示された場合は、日時を設定して、「次へ」**

5 **Googleアカウントの設定で、「次へ」**
   - 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
   - 文字入力方法について、詳しくは「文字入力」（P46）をご参照ください。

6 **「バックアップと復元」画面が表示された場合は、バックアップと復元の設定をして、「完了」**

お知らせ

- オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること（3G／GPRS）が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」（P51）をご参照ください。

Wi-Fiを設定する

本FOMA端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。
接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

- 本FOMA端末の無線LAN対応機器とBluetooth機能とは同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、Blutooth機能の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - 無線LAN対応機器とBluetoothデバイスは、10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器またはBluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークのステータス

本FOMA端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワークの通知がONとなっている場合、範囲内で利用可能なWi-Fiネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」

- 「無線とネットワーク」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

4 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「･」が表示されます。「パスワードを表示する」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。

お知らせ

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの２種類があります。これは､Wi-Fiネットワーク名に （オープンネットワーク） （セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。
- また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

電波が強い場合	
電波が弱い場合	

- Wi-Fiネットワークを再度検索する場合は、ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」をタップし、 ▶「スキャン」をタップします。
- 接続可能なネットワークであっても、アクセスポイント側の設定によってはネットワーク接続名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fiネットワークを追加する」（P33）をご参照ください。
- Wi-Fi接続する場合､接続に必要となる情報は､基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、これらを個別に指定することもできます。この方法について詳しくは、次項をご参照ください。
- Wi-FiのMACアドレス、IPアドレスは、ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」をタップし、 ▶「詳細設定」をタップして確認できます。

Wi-Fiのプロキシ設定を行う

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**
- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 **設定するWi-Fiネットワーク名をタップする**

3 **「プロキシ設定」ボックスをタップする ▶「手動」**
- 「プロキシのホスト名」「プロキシポート」「プロキシを不使用」の３項目が設定できるようになります。

4 **「プロキシのホスト名」「プロキシポート」「プロキシを不使用」欄にそれぞれの情報を入力する**

5 **「接続」**

静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 設定するWi-Fiネットワーク名をタップする

3 「IP設定」ボックスをタップする ▶「静的」
- 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」の5項目が設定できるようになります。

4 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」「DNS 2」をそれぞれ順にタップする
- それぞれを設定するメニューが表示されます。適切な値を設定してください。「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットワークプレフィックス長」「DNS 1」は必ず値を入力してください。

Wi-Fiネットワークの受信エリアに入ったら通知する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「ネットワークの通知」にチェックマークを付ける
- セキュリティで保護されていないWi-Fiのオープンネットワークを検出したら自動的に通知します。

Wi-Fiをスリープに切り替えるタイミングを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」
- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける

3 「Wi-Fiの切断ポリシー」
- 「Wi-Fiの切断ポリシー」画面が表示されます。

4 「画面がOFFになったとき（モバイルデータ使用量が多くなります）」「電源接続時はスリープにしない」「切断しない（電池使用料が多くなります）」の3種類から適切なものを選択

Wi-Fiネットワークを追加する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 **「Wi-Fiネットワークを追加」**

- 「Wi-Fiネットワークを追加」メニューが表示されます。

3 **「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する**

4 **「セキュリティ」**

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。

5 **「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する**

- 「セキュリティ」を「なし」に設定している場合には、入力不要です。

6 **「保存」**

- Wi-Fiネットワークが追加されます。

Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 **Wi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

3 **「ネットワークを変更」**

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 **切断するWi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

3 **「ネットワークから切断」**

- Wi-Fiネットワークから切断されます。

オンラインサービスアカウントを設定する

Google、Microsoft Exchange ActiveSyncなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本FOMA端末の情報を更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。
さらに、不要なアカウントは削除することもできます。

オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 「アカウントを追加」
- 「アカウントの追加」画面が表示されます。

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする
- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- アカウントの追加処理が終了すると、「アカウントを管理」グループに追加したオンラインサービスが表示されます。

お知らせ

- 「バックグラウンドデータ」にチェックマークを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。また、「自動同期」にチェックマークを付けると、アプリケーションが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い､パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。

オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 同期するアカウントをタップする
- オンラインサービスの同期データリストが表示されます。

3 同期データをタップする
- タップしたデータが同期されます。
- をタップするとすべてのデータが同期されます。

オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 削除するアカウントをタップする
- 「同期設定」画面が表示されます。

3 「アカウントを削除」
- 「アカウントの削除」画面が表示されます。

4 「アカウントを削除」
- 該当のアカウントが削除されます。

画面表示／アイコンの見かた

ステータスバー

ステータスバーは画面下部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの時計の左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。



主なステータスアイコン

	電波レベル
	圏外
	Bluetooth機能ON
	Bluetoothデバイスに接続中
（白）／（青）	国際ローミング中（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
（白）／（青）	GPRS使用可能（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
（白）／（青）	3G使用可能（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
（白）／（青）	GPRSによる通信中（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
（白）／（青）	3Gによる通信中（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
	電池残量
	充電が必要
	充電中
	GPS有効

	GPS測位中
	機内モード設定中
（白）／（青）	Wi-Fi接続中（アカウント登録なし状態）／（Googleアカウントでログイン状態）
	USBテザリング接続中
	ポータブルWi-Fiアクセスポイント接続中
	USBテザリングとポータブルWi-Fiアクセスポイント同時接続中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着Emailあり
	新着Googleトークメッセージあり
	アラーム設定中
	カレンダーに設定された予定あり
	音楽を再生中
	Wi-Fiがオンで利用可能

	USBデバッグモード接続中
	内部ストレージに空き容量なし
	データアップロード中
	データダウンロード中
	データダウンロード完了
	ソフトウェアの更新通知あり、または更新中
	ログインまたは同期に問題あり
	インストール済みアプリケーションのアップデートあり
	VPN接続中
	VPN未接続

設定パネルを表示する

1 **ステータスバーのステータスアイコンをタップする**

- ステータスのポップアップが表示されます。

2 **ステータスのポップアップをタップする**

- 設定パネルが表示されます。

通知内容の詳細を表示する

1 **ステータスバーの通知アイコンをタップする**

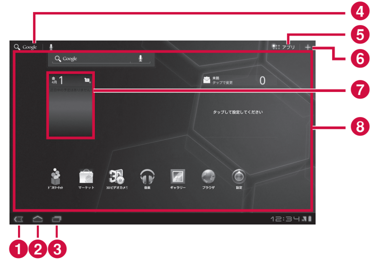
- 通知のポップアップが表示されます。

2 **通知のポップアップをタップする**

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

ホーム画面

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が左右2画面ずつ用意されています。



❶  ／ 

- 直前に操作していた画面に戻ります。
- 最近使用したアプリケーションの一覧やキーボードなどを閉じます。

❷ 

ホーム画面に戻ります。

❸ 

最近使用したアプリケーションの一覧が表示されます。

❹ 

FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索（P41）できます。

5 アプリ
アプリケーション一覧画面が開きます。アプリケーション一覧画面では、「すべて」と「マイアプリ」のタブが選択できます。

6
ホーム画面のカスタマイズ画面が開きます。

7 **ウィジェット（例：カレンダー）**
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

8 **ユーザーカスタマイズ部**
ホーム画面のカスタマイズ画面で行ったカスタマイズが反映されます。配置したアプリケーションのショートカットやウィジェットを移動したり、削除したりできます。

左または右の画面の領域を表示する

1 ホーム画面を左または右にドラッグする

- 左または右の画面の領域が表示されます。

ホーム画面のカスタマイズ画面の見かた

ホーム画面にアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加したり、壁紙を変えるなどカスタマイズを行う画面です。なお、ホーム画面で、 をタップすると表示されます。



1 **ホーム枠**
アイテムをこの枠にドラッグし指を離すとホーム画面にアイコンが配置されます。

2 **タブ**
「ウィジェット」「アプリのショートカット」「壁紙」「その他」を切り替えます。

3 **アイテム**
ホーム画面に配置するアプリケーションやウィジェットです。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面で、＋をタップする

2 「ウィジェット」

ウィジェット	機能
Gmail	Gmail用クライアント
Google検索	Googleの検索ソフト
YouTube	YouTubeリスト
アナログ時計	アナログ時計
カレンダー	カレンダー
ブックマーク	ブックマークリスト
マーケット	Androidマーケット
メール	メール送受信ツール
写真フレーム	写真フレーム表示ツール
連絡先	連絡先ツール
音楽	音楽再生ツール

3 追加するウィジェットをホーム枠にドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面にウィジェットが追加されます。

お知らせ

- ホーム画面でブックマーク、カレンダー、メールのウィジェットを1秒以上タッチするとリサイズ可能な領域が表示されます。ブックマークのインディケータ（リサイズ調整枠）を上／下に、カレンダーとメールのインディケータを上／下／左／右にドラッグして、ウィジェットのサイズを調整することができます。ウィジェット以外の領域をタッチすると、インディケータが消えます。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 ホーム画面で、＋をタップする

2 「アプリのショートカット」

3 追加するショートカットをホーム枠にドラッグし、移動先で指を離す

- ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。

ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンを１秒以上タッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- ショートカットアイコンが移動されます。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。

壁紙を変更する

1 ホーム画面で、＋をタップする

2 「壁紙」

3 壁紙のカテゴリーをタップする

- 「ギャラリー」をタップした場合は、写真選択画面が表示されます。いずれかのフォルダーをタップし、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「ＯＫ」をタップしてください。
- 「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。
- 「壁紙」をタップした場合は、壁紙の一覧が表示されます。続けて、壁紙として使用する画像をタップしてください。

ホーム画面にその他を追加する

1. ホーム画面で、田 をタップする
2. 「その他」
3. 追加するその他のアイコンをホーム枠にドラッグし、移動先で指を離す。
   - ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1. ホーム画面で、ショートカットアイコン、またはウィジェットを1秒以上タッチする
   - 「削除」が表示されます。
2. そのまま「削除」に移動して指を離す
   - ホーム画面から削除されます。

検索する

「Google検索」ウィジェットを利用すると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。なお、検索データの種類、検索範囲を変更することもできます。

文字を入力して検索する

1. ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする
   - クイック検索ボックスが表示されます。
2. 検索する文字を入力
   - 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。
3. リストのいずれかをタップする
   - 最適なアプリケーションで内容を表示します。

お知らせ

- 目的の検索結果がない場合は、▶ をタップするとウェブページが検索できます。

音声で検索する

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの をタップする**

2 **「お話しください」と表示されたら、マイクに向かって検索語をはっきりと発音する**

- 音声が文字に変換され、検索語を含む情報が「もしかして...」リスト表示されます。
- 検索語の候補が複数ない場合は、リストは表示されず、検索ボックスに検索語が入ったGoogleホームページが開きます。
- 音声が認識されなかった場合は、「該当なし」画面で「やり直す」をタップしてください。

3 **リストのいずれかをタップする**

- 検索ボックスに検索語が入ったGoogleホームページが開きます。

お知らせ

- 正しく変換されない場合は、改めて をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。

検索の設定を行う

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする**

2 **▶「検索設定」**

- 「Google検索の設定」画面が表示されます。

3 **必要に応じて設定を変更する**

検索対象	
Google	現在地情報、パーソナライズ検索、検索履歴などGoogleアカウントごとの検索候補を検索の対象に設定します。
アプリケーション	インストールされているアプリケーション名を検索の対象に設定します。
ブラウザ	ブックマークとウェブ履歴を検索の対象に設定します。
連絡先	連絡先の名前を検索の対象に設定します。
音楽	アーティスト、アルバム、トラックを検索の対象に設定します。

Google検索	
現在地情報を使用	現在地をGoogle検索結果やサービスの向上に利用する／しないを設定します。
パーソナライズ検索	Googleアカウントの検索履歴やその他のカスタマイズ機能を使用する／しないを設定します。
Googleアカウント	Googleアカウントが複数ログインされている場合、Google検索に使用するアカウントを選択します。
検索履歴の管理	ブラウザでログインしたGoogleアカウントのウェブ履歴を記録、検索、表示できます。
常にgoogle.comを使用	http://www.google.comを使用する／しないを設定します。
利用規約	Google検索に関する利用規約を表示します。

アプリケーション画面

アプリケーション画面には、本FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示され、タップすることでアプリケーションを開くことができます。

アプリケーション画面からアプリケーションを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」

2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

お知らせ

- アプリケーション画面でアイコンを1秒以上タッチするとホーム枠、「アンインストール」および ⓘ が表示されます。
  - ホーム枠までドラッグして、指を離すと、ショートカットアイコンがホーム画面に追加されます。
  - 「アンインストール」までドラッグして、指を離すとアプリケーションのアンインストールができます。ただし、お買い上げ時にインストールされているアプリケーションはアンインストールできません。
  - ⓘ までドラッグして、指を離すと、「アプリケーション情報」画面が表示され、アプリケーションの強制停止などができます。

アプリケーション一覧

	3Dビデオカメラ	3D動画の撮影ができます。（P75）
	3Dプレイヤー	FOMA端末に保存されている3D動画を再生できます。3D動画を見るには、別途市販の赤青のアナグリフ式メガネが必要です。（P77）
	Catalyst Mobile Reader	Office文書の閲覧ができます。（P110）
	Gmail	Googleアカウントのメールの送受信ができます。（P69）
	Google検索	FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。（P41）
	Latitude	地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。（P101）
	LG World	多様なアプリケーションとドラマおよびバラエティ番組などの動画コンテンツをご利用いただけます。（P109）
	Movie Studio	FOMA端末に保存している複数の写真や動画を並べて一つの動画として編集できます。YouTube上にアップロードすることも可能です。（P111）
	Twonky Mobile Special	スマートフォン内やインターネット上の動画・写真・音楽を、DLNA対応のTVやオーディオにワイヤレス再生することができます。インターネット上のコンテンツをご利用になる場合には、インターネットへ接続可能なアクセスポイントが必要です。
	YouTube	YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。（P109）
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。（P69）
	カメラ	静止画（写真）および動画を撮影できます。（P72）
	カレンダー	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます。（P107）
	ギャラリー	静止画（写真）および動画を閲覧できます。（P76）
	ダウンロード	ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生できます。（P113）
	トーク	Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。（P71）

	ドコモマーケット	ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「ｄメニュー」へのショートカットアプリです。
	ナビ	目的地までの経路の案内を音声ガイダンスでできます。（P105）
	ブラウザ	ウェブページが閲覧できます。（P70）
	プレイス	現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。（P106）
	マーケット	Androidマーケットを利用して、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。（P91）
	マップ	現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。（P95）
	メール	パソコンと同様にメールの送受信ができます。（P68）
	音楽	FOMA端末に保存されている音楽を再生できます。（P78）
	音声検索	音声で入力して検索できます。（P113）
	楽天オークション	楽天オークションに出品されている、人気のファッションアイテムなどが簡単に検索できます。
	時計	アラームの設定ができます。（P106）
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。（P112）
	設定	各種設定を行うことができます。（P50）
	電卓	四則演算などができます。（P108）
	連絡先	連絡先（電話帳）を登録したり、登録した連絡先から簡単に電話やメールをしたりできます。（P67）

お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。
- ソフトウェア更新を行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

文字入力

本FOMA端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本FOMA端末の日本語入力では、フルキーソフトウェアキーボードが使用できます。
キーアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

■ ひらがな漢字／半角英字入力
日本語を入力したり、英字を入力したりする場合に使用します。



■ 全角数字／半角数字入力
全角数字を入力したり、半角数字を入力したりする場合に使用します。



❶ **記号キー**
記号／顔文字リストを表示します。

❷ **キーボード切替キー**
入力（キーボード）を切り替えます。

❸ **シフトキー**
大文字キーと小文字キーを切り替えます。

❹ **文字種切替／設定キー**
入力（文字種）を切り替えます。1秒以上タッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。

❺ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。

❻ **実行キー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能を実行します。

❼ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。

❽ **左カーソルキー**
左へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。

❾ **スペース**
スペースを入力します。変換時は連文節変換を行います。

お知らせ

- ここではiWnn IME（日本語キーボード）のソフトウェアキーボードについて説明しています。キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「入力（キーボード）を切り替える」（P47）をご参照ください。
- キーボードが不要な場合は、［∨］をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

入力（キーボード）を切り替える

1 ソフトウェアキーボードで［ABC］／［?123］をタップする

- キーボードが切り替わります。

入力（文字種）を切り替える

文字入力画面で［文字 全123］をタップするたびに文字種が切り替わります。また、［文字 全123］を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示され、「入力モード切替」をタップすると入力モードを切り替えることができます。

- ひらがな漢字／半角英字の場合は、「ひらがな漢字」▶「半角英字」の順に文字種が切り替わります。
- 全角数字／半角数字の場合は、「全角数字」▶「半角数字」の順に文字種が切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面によっては、特定の文字種のみに限定されたり、選択できる文字種が制限される場合があります。

記号／顔文字を入力する

文字入力画面で をタップすると、記号／顔文字入力モードになりディスプレイに記号または顔文字の候補が表示されます。
「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字の入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、記号または顔文字が入力できます。
「戻る」をタップすると、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示されます。ここで「各種設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

キーボード設定（共通）	
キー操作音	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴って音が鳴ります。
自動大文字変換	チェックマークを付けると、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にします。
キーボードイメージ	キーボードのデザインを設定できます。

日本語変換設定	
日本語候補学習	チェックマークを付けると、変換で確定した語句をiWnn IMEが学習します。
日本語予測変換	チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。
日本語ワイルドカード予測	チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。
英語変換設定	
英語候補学習	チェックマークを付けると、変換で確定した語句をiWnn IMEが学習します。
英語予測変換	チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。
英語入力ミス補正	チェックマークを付けると、入力間違いの変換候補を表示します。
英語ワイルドカード予測	チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。

辞書	
日本語ユーザー辞書	タップすると「日本語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。 をタップすると、単語の登録、編集、削除、日本語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
英語ユーザー辞書	タップすると「英語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。 をタップすると、単語の登録、編集、削除、英語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
IMEについて	
iWnn IME for Tablet	iWnn IME for Tabletのバージョン情報などが表示されています。

各種設定

設定メニュー

本FOMA端末では、ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。

無線とネットワーク	各種ネットワークに関する設定を行います。（P51）
音	音量などの設定を行います。（P55）
画面	画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。（P56）
現在地情報とセキュリティ	GPSや画面ロック、タブレットの暗号化、パスワードの設定などを行います。（P56）
アプリケーション	アプリケーションに関する設定を行います。（P61）
アカウントと同期	アカウントおよび同期に関する設定を行います。（P61）
バックアップと復元	Googleサーバーを利用してバックアップや復元の設定を行ったり、FOMA端末内のすべてのデータを消去します。（P62）
ストレージ	内部ストレージの空き容量表示などを行います。（P63）
言語と入力	本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。（P63）
ユーザー補助	ユーザー補助に関するアプリケーションのダウンロード／インストールと設定、およびタッチスクリーンの長押しの時間を設定します。（P64）
日付と時刻	日付や時刻に関する設定を行います。（P65）
タブレット情報	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。（P65）

無線とネットワーク

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

機内モード	電波を発する機能を有効／無効にします。
Wi-Fi	Wi-Fi機能をON／OFFにします。
Wi-Fi設定	Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。（P30）
Bluetooth	Bluetooth機能をON／OFFにします。
Bluetooth設定	Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。
テザリングとポータブルアクセスポイント	FOMA端末のデータ通信をUSBやポータブルWi-Fiアクセスポイントを利用して共有するための設定を行います。
VPN設定	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。
モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。

テザリングを設定する

テザリングは一般に、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、携帯電話回線を通じて無線LAN対応機器、USB対応機器をインターネット接続させることをいいます。

USBテザリング

FOMA端末をUSBデータケーブル（試供品）と接続し、モデムとして利用することで、USB対応機器をインターネット接続させることができます。

1. ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとポータブルアクセスポイント」
2. FOMA端末とパソコンをUSBデータケーブルで接続する
3. 「USBテザリング」にチェックマークを付ける

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7 ／ Windows Vista ／ Windows XP（Service Pack 3以降）

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。専用のドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
- ご利用時の料金等について、詳しくは、
  http://www.nttdocomo.co.jp/ をご参照ください。

Wi-Fiテザリング

FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとポータブルアクセスポイント」**

2 **「ポータブルWi-Fiアクセスポイント」にチェックマークを付ける**

- 注意のメッセージが表示されます。「注意事項の詳細」をタップし、内容をよくご確認ください。

3 **「OK」**

お知らせ

- お買い上げの状態では、ネットワークSSIDは「AndroidAP」、セキュリティは「Open」となっております。必要に応じて、セキュリティの設定を行ってください。
- ご利用時の料金等について、詳しくは、
  http://www.nttdocomo.co.jp/ をご参照ください。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを追加する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「テザリングとポータブルアクセスポイント」**

2 **「Wi-Fiアクセスポイントを設定」**

- 「Wi-Fiアクセスポイントを設定」メニューが表示されます。

3 **「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSID を入力する**

4 **「セキュリティ」**

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「Open」「WPA PSK」「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。

5 **「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する**

- 「セキュリティ」を「Open」に設定している場合には、入力不要です。

6 **「保存」**

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」**

アクセスポイントを追加で設定する＜新しいAPN＞

1. ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶ ▶「新しいAPN」
2. 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」
3. 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」
4. その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1. ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. ▶「初期設定にリセット」

spモード

spモードはNTT ドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera Uは NTT ドコモのISPです。mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U（スマートフォン定額）」または「mopera U（定額データプラン）」、「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、「パケット定額サービス」のご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（定額データプラン）」をご利用の場合、「定額データプラン」のご契約が必要です。mopera U（定額データプラン）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

音

音量などの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

全般	
音量	音楽／動画メディア（ ）、通知音（ ）、アラーム（ ）の音量を設定します。
通知	
通知音	通知音として使用する音を設定します。
フィードバック	
選択時の操作音	メニュー選択時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。
画面ロックの音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

画面

画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
画面の自動回転	本FOMA端末を回転した場合、画面表示を自動的に変更する／しないを設定します。
アニメーション表示	画面操作によるアニメーション表示の設定を行います。
タイムアウト	操作しない状態がどれだけ継続したらバックライトを消灯するかを設定します。

現在地情報とセキュリティ

GPSや画面ロック、タブレットの暗号化、パスワードの設定などを行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

現在地	
無線ネットワークを使用	無線ネットワークを使用するアプリケーションで位置情報を表示します。
GPS機能を使用	GPS機能を使用する／しないを設定します。
Google検索に位置情報を使用する	現在地情報をGoogleの検索結果やサービスの向上に利用します。
画面のロック	
画面ロックの設定	画面ロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。
所有者情報	画面ロック時に、所有者情報表示を使用する／しないを設定します。
暗号化	
タブレットの暗号化	電源を入れるたびに数値のPINまたはパスワードを入力してタブレットを復号化する／しないを設定します。また、復号化する場合に必要な設定を行います。

SIMカードロック	
SIMカードロック設定	SIMカード（ドコモUIMカード）のロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。
パスワード	
パスワードを表示	パスワード入力時に、入力した文字を表示する／しないを設定します。
デバイス管理	
端末管理者	本FOMA端末の管理者を表示または無効にします。
認証情報ストレージ	
安全な認証情報の使用	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する／しないを設定します。
ストレージからのインストール	暗号化された証明書をUSBストレージからインストールします。
パスワードの設定	認証ストレージのパスワードを設定／変更します。
認証ストレージの消去	認証ストレージのすべてのコンテンツを消去してパスワードをリセットします。

お知らせ

＜画面ロックの解除について＞

- パターン入力を5回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。パターンを忘れた場合、再入力画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、FOMA端末に設定したGoogleアカウントでログインしてください。新しいパターンを入力できます。
- Googleアカウントを設定していない場合、PINまたはパスワードを忘れた場合は、画面ロックを解除できませんのでご注意ください。

＜タブレットの暗号化について＞

- Googleアカウント、FOMA端末の各種設定情報、アプリケーション、ダウンロードデータとその情報、メディアファイルなどが暗号化されます。
- 暗号化の前に電池をフル充電してください。なお、暗号化処理の途中で充電が必要な場合がありますので、ACアダプタでFOMA端末を電源コンセントに接続してください。
- 暗号化処理は1時間以上かかります。暗号化処理を途中で中断すると、データの一部またはすべてが失われる恐れがありますので、十分ご注意ください。
- タブレットの暗号化を解除するには、ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「バックアップと復元」▶「データの初期化」でFOMA端末を初期化する必要があります。

  初期化をすると、FOMA端末のすべてのデータが消去されますのでご注意ください。

暗証番号とドコモUIMカードの保護について

本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。

お知らせ

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

お知らせ

- 「My docomo」については、本書裏面の裏側をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

1. **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**
2. **「SIMカードロック設定」**
   - 「SIMカードロック設定」画面が表示されます。
3. **「SIMカードをロック」**
4. **PINコードを入力して「OK」**
   - 「SIMカードをロック」にチェックマークが付きます。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」

2 「SIMカードロック設定」
- 「SIMカードロック設定」画面が表示されます。

3 「SIM PINの変更」
- 「SIM PIN」画面が表示され、現在のPINコードの入力が求められます。

4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」
- 「SIM PIN」画面で新しいPINコードの入力が求められます。

5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
- 「SIM PIN」画面で再び新しいPINコードの入力が求められます。

6 手順５で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」
- PINコードが変更されます。

お知らせ
- PINコードは、初期設定で「0000」となっています。

PINコードを入力する

本FOMA端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」

ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

PINコードの入力を３回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 電源を入れて以下の画面が表示されたら、音量キー（右）を５秒以上押す



2 PINロック解除コードを入力して「OK」

3 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

4 手順３で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

アプリケーション

アプリケーションに関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

アプリケーションの管理	インストールされているアプリケーションをリスト表示／削除します。
実行中のサービス	実行中のサービスをリスト表示／停止します。
ストレージ使用状況	アプリケーションのストレージ使用状況を表示します。
電池使用量	電池を使用しているアプリケーションや電池使用量を表示します。
提供元不明のアプリ	Androidマーケットで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可する／しないを設定します。
開発	アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

アカウントと同期

アカウントおよび同期の設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

同期の全般設定	
バックグラウンドデータ	同期機能を有するアプリケーションが常に同期およびデータの送受信を可能とする／しないを設定します。
自動同期	同期機能を有するアプリケーションが自動的にデータを同期するようにする／しないを設定します。
アカウントを管理	
Microsoft Exchange、Googleなど本FOMA端末で使用するアカウントを追加／削除します。	

バックアップと復元

Googleのサーバーを利用して、バックアップや復元を行います。また、初期化の操作を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

バックアップと復元	
データのバックアップ	アプリケーションデータ、Wi-Fiパスワード、その他の設定をGoogleサーバーにバックアップします。
バックアップアカウント	バックアップに使用するGoogleアカウントを表示します。このGoogleアカウントは、他の端末に設定を復元するときに使用します。
自動復元	バックアップ済みの設定やその他のデータをアプリケーションの再インストール時に復元します。
個人データ	
データの初期化	本FOMA端末内のすべてのデータを消去します。

FOMA端末を初期化する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「バックアップと復元」

2 「データの初期化」▶「タブレットをリセット」▶「すべて消去」

お知らせ

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について､詳しくは「ファイル管理」（P83）、もしくは「外部機器接続」（P89）をご参照ください。

ストレージ

内部ストレージの空き容量表示を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

内部ストレージ	
合計容量	内部ストレージの全容量を表示します。
アプリケーション	内部ストレージのうち、アプリケーションが使用している容量を表示します。
ダウンロード	内部ストレージのうち、ダウンロードしたデータが使用している容量を表示します。
画像、動画	内部ストレージのうち、画像や動画が使用している容量を表示します。
音声（音楽、着信音、ポッドキャストなど）	内部ストレージのうち、音楽や着信音、ポッドキャストなどが使用している容量を表示します。
その他	内部ストレージのうち、上記以外のデータが使用している容量を表示します。
空き容量	内部ストレージの空き容量を表示します。

言語と入力

本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

言語設定	
言語を選択	FOMA端末で使用する言語を選択します。
単語リスト	iWnn IME以外のIMEを使用する場合の辞書について単語の登録や編集、削除を行います。
音声入力	
音声認識装置の設定	音声認識装置の設定を行います。
音声出力	
テキスト読み上げの設定	テキストの読み上げに関する設定を行います。
キーボード設定	
現在の入力方法	キーボードまたは音声による入力方法を選択します。
入力方法選択オプション	入力方法の表示／非表示の設定を行います。
入力方法の設定	入力方法の詳細な設定を行います。

ユーザー補助

ユーザー補助に関するアプリケーションのダウンロード／インストールと設定、およびタッチスクリーンの長押しの時間を設定します。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

ユーザー補助	ユーザー補助に対応したアプリケーションを有効／無効にします。
ユーザー補助サービス	
TalkBack	FOMA端末から入力する全テキストの収集をアプリケーション（TalkBack）に許可する／しないを設定します。
ユーザー補助スクリプト	
ユーザー補助スクリプトをダウンロードする	ユーザー補助スクリプトをGoogleからダウンロードすることをアプリケーションに許可します。
タッチスクリーンジェスチャー	
長押しの時間	画面をタップして長押しと判断されるまでの時間を設定します。

お知らせ

- ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめAndroidマーケットから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。
- 「ユーザー補助サービス」（TalkBack）の使用を許可すると、クレジットカード番号などの個人情報（パスワードを除く）、ユーザーインターフェースでのやりとりなども記録されますので、ご注意ください。万が一、登録されたデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

日付と時刻の自動設定	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
日付設定	日付の設定を行います。
時刻設定	時刻の設定を行います。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

タブレット情報

本FOMA端末に関する各種情報を表示します。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

システムアップデート	本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。
端末の状態	本FOMA端末に関する各種情報を表示します。
電池使用量	電池の使用量に関する情報を表示します。
法的情報	利用規約に関する情報を表示します。
モデル番号	本FOMA端末のモデル番号（機種名）を表示します。
Androidバージョン	本FOMA端末で稼働中のAndroidのバージョンを表示します。
ベースバンドバージョン	本FOMA端末で稼働中のベースバンドバージョンを表示します。
カーネルバージョン	本FOMA端末で稼働中のAndroidで使用されているカーネルのバージョンを表示します。
ビルド番号	本FOMA端末で稼働中のAndroidのビルド番号を表示します。

自局番号を表示する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「タブレット情報」**

2 **「端末の状態」**

- 「端末の状態」画面が表示されます。「電話番号」として自局番号が表示されます。

連絡先／メール／インターネット

連絡先

連絡先には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。連絡先を表示して、その連絡先にすばやくアクセスできます。

連絡先を登録する

新たに連絡先を登録できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「連絡先」▶「新規」

- 「連絡先を新規登録」画面が表示されます。
- アカウントおよび連絡先が登録されていない場合は、「新しい連絡先を作成」をタップします。

2 情報を入力して「完了」

- 入力した内容が登録されます。

連絡先を表示する

連絡先に登録されている情報が表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「連絡先」

- 「すべての連絡先」タブ画面が表示されます。

連絡先を統合／分割する

本FOMA端末では、登録されている連絡先において、同じ名前やフリガナ等が複数ある場合に1つにする機能があります。複数の連絡先が表示された場合には、必要に応じて連絡先を統合できます。また、統合した連絡先を分割（統合の解除）することもできます。

連絡先の統合

1 統合したい連絡先を表示させて、✎

2 ≡ ▶「統合」

- 統合の候補が一覧表示されます。

3 統合した連絡先をタップ

- 連絡先が統合されて、連絡先の編集画面に戻ります。

4 「完了」

連絡先の分割

1 分割したい連絡先を表示させて、✎

2 ≡ ▶「分割」

3 「OK」

メール

パソコンと同様にメールを送受信できます。一般的なメールのほかMicrosoft Exchange Serverを使用したメールの送受信も行うことができます。

メールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「メール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

お知らせ

- アカウントの登録を行っていない状態で「メール」アプリケーションを開いた場合、「アカウント設定」画面が表示されます。メールアドレス、パスワードを入力し、画面の表示に従い設定を行ってください。ここで設定した内容は、後から変更できます。
- 設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

- メール画面にメールの内容が表示されます。

お知らせ

- 「メール」アプリケーションを開くことで、メールサーバーに自動的に接続し、新着メールがあれば受信して「受信トレイ」画面に追加されます。ただし、「メール」アプリケーションを開いたままの状態で、かつ新着メールを自動的に確認しない設定になっていると、新着メールは自動的に受信されません。こうした場合には、「受信トレイ」画面を更新します。
- モバイルネットワーク接続を使用して5MB以上の添付ファイルをダウンロードする場合、「Wi-Fi接続が必要です」メッセージ画面が表示されます。今すぐ添付ファイルをダウンロードしたい場合、「Wi-Fi設定」をタップし、Wi-Fiネットワークに接続してください。

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メッセージを作成」ボックスにメッセージを入力する

5 「送信」

お知らせ

- 「To」ボックスの右側に が表示された場合、無効なメールアドレスが指定されています。入力内容を確認して修正してください。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールを送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「Gmail」

- Gmailが開き、「受信トレイ」画面が表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントでログイン」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Gmailの詳細については、Gmailのサイトをご覧ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源OFF時
  - 圏外時
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - 国際ローミング中
  - 他社のSIMカードをご利用時
- パケット通信およびテザリング機能を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

エリアメールを受信する

1 エリアメールを自動的に受信する

- エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示されます。
- キーロックされている場合、エリアメールの本文は表示されません。キーロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。

受信したエリアメールをあとで表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信BOX」画面が表示されます。

2 いずれかのエリアメールをタップする

- エリアメールの本文が表示されます。

エリアメールを設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信BOX」画面が表示されます。

2 [メニューキー] ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

3 必要に応じて設定を変更する

受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモード設定中の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報と災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報と災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「ブラウザ」

- ブラウザが開いて、前回閲覧したウェブページが表示されます。最近、ブラウザを使用していない場合は、ホームページが表示されます。

お知らせ

- パソコン用に作成されたウェブページを表示すると、最初は全体表示されますが、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P27）をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- 本FOMA端末で表示、再生できるファイル形式については、「ファイル形式」（P131）をご参照ください。

トーク

Googleトークは Googleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P34）をご参照ください。

Googleトーク利用の準備

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

Googleトークにログインする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「トーク」
- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

お知らせ
- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントでログイン」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

チャットする

1 「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする
- チャット画面が表示されます。

2 「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ 文字を入力して ➤
- 文字ボックスに入力した内容が送信されます。

マルチメディア

カメラを利用する

本FOMA端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

■ 著作権・肖像権について

本FOMA端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむ目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付きFOMA端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラをご利用になる前に

撮影するときのご注意

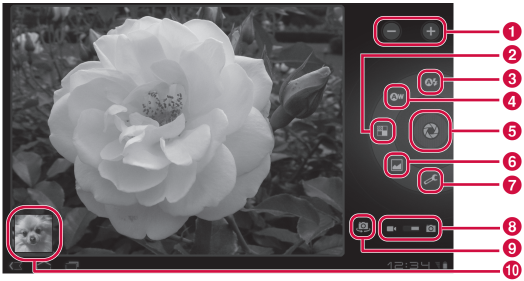
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- FOMA端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。

- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。

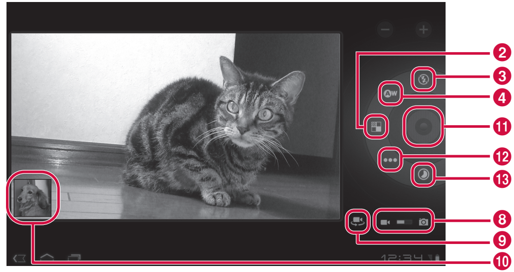
撮影画面の見かた

静止画／動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

■ 静止画撮影画面



■ 動画撮影画面



❶ **ズーム設定**※

　ズームイン

　ズームアウト

❷ **色効果**
画像に特殊な効果をかけて撮影するときに設定します。

❸ **フラッシュモード**

　オート※

　ON

　OFF

❹ **ホワイトバランス**

　オート

　白熱灯

　昼光

　蛍光灯

　曇り

❺ **シャッター**

❻ **撮影モード**
ポートレイト撮影や夜景撮影など、シーンに応じたモードを設定します。

❼ **カメラ設定**
- 位置情報を記録する：位置情報を取得して静止画に付加します。
- フォーカスモード：オートフォーカスを設定します。
- 露出：撮影するときの露出値を設定します。
- 表示サイズ：撮影する画像サイズを設定します。
- 写真の画質：撮影した静止画を保存するときの画質を設定します。
- ちらつき調整：蛍光灯などの影響による画面のちらつきを軽減する設定をします。
- 初期設定に戻す：カメラ設定を初期化します。

❽ **静止画／動画撮影モードの切り替え**
静止画撮影モード
動画撮影モード

❾ **メインカメラ／インカメラ切り替え**
静止画撮影時
動画撮影時

❿ **プレビュー画面表示**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画／動画の確認ができます。

⓫ **録画ボタン**

⓬ **動画の画質**
動画撮影時の画質を設定します。

⓭ **低速度撮影の間隔**
低速度で動画撮影する際の間隔を設定します。

※ 動画撮影の場合は使用できません。

静止画を撮影する

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「カメラ」**
- 静止画撮影画面が表示されます。
- アイコンをタップして必要な項目を設定することができます。

2 **カメラを被写体に向ける**

3
- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 撮影した静止画のサムネイルが画面左下に表示され、自動的に保存されます。

お知らせ

- 項目によっては同時に設定できない場合があります。
- 撮影画面左下のサムネイル表示をタップすると、プレビュー画面が表示され、以下の操作ができます。
  - （スライドショー）：撮影した静止画をスライドショーで表示します。
  - （共有）：PicasaやBluetooth、Gmail、メール※で送信できます。
  - （削除）：撮影した静止画を削除します。
  - （その他）：撮影した静止画の詳細情報を表示したり、編集したり、壁紙に設定したりできます。

※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

動画を撮影する

カメラでは、モードを切り替えることで動画撮影もできます。

1 **静止画撮影画面で を右から左へドラッグする**

- 動画撮影画面に切り替わります。
- アイコンをタップして必要な項目を設定することができます。

2 **カメラを被写体に向ける**

3

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。

4

- 録画停止音が鳴り、録画が停止します。その後、動画撮影画面に戻ります。
- 撮影した動画のサムネイルが画面左下に表示され、自動的に保存されます。

お知らせ

- 撮影画面左下のサムネイル表示をタップすると、プレビュー画面が表示され、以下の操作ができます。
  - （スライドショー）：撮影した動画の1コマ目をスライドショーで表示します。
  - （共有）：YouTubeやBluetooth、Gmail、メール※で送信できます。
  - （削除）：撮影した動画を削除します。
  - （その他）：撮影した動画の詳細情報を表示します。

※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

3Dビデオカメラを利用する

本FOMA端末で3D動画を撮影して楽しむことができます。

撮影画面の見かた



❶ **3Dモード**
撮影時の表示方法を選択します。

❷ **奥行き調整**
3D動画撮影時の奥行きを調整します。

❸ **設定**
ホワイトバランスやビデオ画質、音声録音の可否を設定します。

❹ **3Dビデオカメラヘルプ**
3D動画撮影時の注意事項や安全に関する情報、3D動画の観賞方法などについて説明します。

❺ **プレビュー画面表示**
タップすると3Dプレイヤーが起動し、「アナグリフ」または「サイドバイサイド」形式のいずれかで3D動画の確認ができます。

❻ **録画ボタン**

3D動画を撮影する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「3Dビデオカメラ」

- 3D撮影画面が表示されます。
- アイコンをタップして必要な項目を設定することができます。

2 カメラを被写体に向ける

3 ◉

- 録画開始音が鳴り、3D撮影が始まります。

4 ◼

- 録画が停止し、3D撮影画面に戻ります。
- 撮影した3D動画のサムネイルが右上に表示され、自動的に保存されます。

静止画や動画を表示する

ギャラリーで静止画や動画を見る

ギャラリーでは、静止画をスライドショーで表示したり、編集することができます。

静止画や動画を見る

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「ギャラリー」

- ギャラリー画面が表示されます。
- ギャラリーでは、カメラにより撮影されたものと、ダウンロードされたものがまとめて表示されます。

2 「Camera」をタップする

- 「アルバム別」をタップすると、アルバム別／時間別／地域別／タグ別／サイズ別ごとの表示に切り替わります。
- 「画像と動画」をタップすると、画像と動画／画像のみ／動画のみごとの表示に切り替わります。

3 いずれかのサムネイルをタップする

- 静止画の場合、タッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすることで画像を拡大／縮小することができます。
- 動画の場合、▷ をタップすると動画が再生され、◫ をタップすると動画が停止します。

お知らせ

- 「3DVideo」フォルダー内の動画は左右分割の状態で再生可能ですが、3D動画として見ることはできません。

3Dプレイヤーで3D動画を見る

FOMA端末に保存されている3D動画を簡単に再生できます。3D動画を見るには、別途市販の赤青のアナグリフ式メガネが必要です。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「3Dプレイヤー」**

- FOMA端末に保存されている3D動画が一覧表示されます。

2 **いずれかの3D動画をタップする**

- 3D動画が再生されます。

お知らせ

- 3D動画の一覧を表示中にいずれかの3D動画を1秒以上タッチすると、選択画面が表示され、以下の操作ができます。
  - 「すべて選択」：すべての3D動画を選択できます。また、すべてのチェックボックスにチェックマークが付いている場合、「選択をすべて解除」をタップすると、3D動画の一覧画面に戻ります。
  - （ファイル情報）：3D動画の詳細情報を表示します。
  - （共有）：YouTubeやBluetooth、Gmail、メール※で送信できます。
  - （削除）：選択した3D動画を削除します。

  ※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。
- 本FOMA端末は3D液晶対応ではございません。
- アナグリフ式メガネを使って3D動画を視聴する場合は、3D動画再生画面左下に表示される切替アイコンを から へ切り替える必要があります。
- 3D動画の再生をいったん中止して別の操作を行った後、再び3Dプレイヤー画面に戻った場合、「映像を再開」確認画面が表示されます。中断した位置から再生する場合は「再生を再開」をタップし、最初から再生したい場合は「最初からやり直し」をタップしてください。

テレビで静止画や動画を見る

本FOMA端末とテレビを市販のHDMIケーブルで接続すると、FOMA端末に保存された静止画や動画をテレビに表示できます。また、3D対応のテレビの場合、本FOMA端末で撮影した3D動画を楽しむことができます。

- サイドバイサイド方式かつＨＤＭI1.4対応の3D対応テレビが必要です。

音楽を利用する

音楽を使用して、本FOMA端末に保存した音楽を再生できます。

■ 再生可能なファイル形式

ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。

ファイル形式
MP3、AAC+、eAAC+、WAV、OGG、MIDI

お知らせ

- 本FOMA端末とパソコンをUSBデータケーブル（試供品）で接続し、パソコンのWindows Media Playerのライブラリと音楽や動画を同期できます。その場合、パソコン側に必要な動作環境は次のとおりです。
  - OS※1 ※2：Windows 7 ／ Windows Vista ／ Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※1 OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。

  ※2 LinuxやMacintoshには対応しておりません。

音楽を再生する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「音楽」

- 音楽ライブラリ画面が表示されます。
- 音楽ライブラリ画面左上の「最新」をタップすると､「最新」／「アルバム」／「アーティスト」／「曲」／「再生リスト」／「ジャンル」ごとの表示に切り替わります。

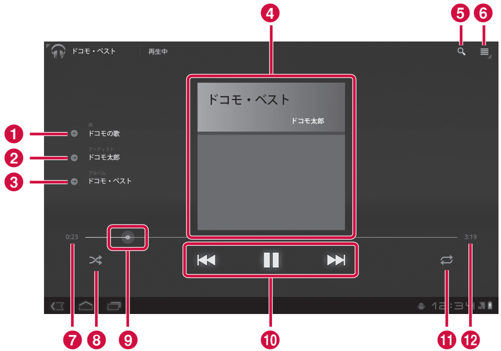
2 いずれかの項目をタップする

- タップしたカテゴリーに応じた結果が表示されます。

3 リストアップされた項目のいずれかをタップする

4 再生したい曲をタップする

- 音楽再生画面が表示され、タップした曲が再生されます。



❶ **曲名**
- ⊕ をタップすると、「プレイリストに追加」画面が表示されます。

❷ **アーティスト名**
- ➡ をタップすると、アーティストごとのアルバム一覧が表示されます。

❸ **アルバム名**
- ➡ をタップすると、アルバムの曲が一覧表示されます。

❹ **ジャケット画像**

❺ **検索**

❻ **その他のオプション**

❼ **再生経過時間**

❽ **シャッフル**
- シャッフルのON ／ OFFを切り替えます。ボタンのアイコンが緑色だとシャッフルがON、グレーだとOFFであることを示します。

❾ **再生経過バー**
- ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

❿ **キー操作のガイド表示**

⏮ ： 再生中の曲の先頭から再生を始めます。ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の曲を巻き戻します。

⏸ ： 一時停止／再生します。

⏭ ： 次の曲の先頭から再生を始めます。1秒以上タッチすると、再生中の曲を早送りします。

⓫ **リピート設定**
- リピートのON ／ OFFを切り替えます。ボタンのアイコンが緑色だと全曲リピート／1曲リピートがON、グレーだとOFFであることを示します。

⓬ **曲全体の長さ**

お知らせ

- バッググラウンド再生中は、ステータスバーに 🎧 が表示されます。
- 音楽ライブラリに含まれるすべての曲をランダムに再生するには、音楽ライブラリ画面で「最新」▶「すべてシャッフル」ジャケットをタップするか、☰ ▶「すべてシャッフル」を順にタップしてください。

曲を検索する

曲を検索するには、アーティスト名／アルバム名／曲名で行う方法と、文字を入力して検索する方法があります。文字を入力して検索する場合には、入力した文字がアーティスト名、アルバム名、曲名のいずれかに一致するものが表示されます。

アーティスト名／アルバム名／曲名で検索する

1 音楽ライブラリ画面で「最新」▶「アルバム」／「アーティスト」／「曲」／「再生リスト」／「ジャンル」のいずれかのタブをタップする

- タップしたカテゴリーに応じた結果が表示されます。

2 リストアップされた項目のいずれかをタップする

- 「最新」／「アルバム」で検索した場合には、アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。
- 「アーティスト」／「ジャンル」で検索した場合には、アーティスト名またはジャンル ▶ アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。
- 「再生リスト」で検索した場合には、プレイリスト名をタップすることで曲名が表示されます。

お知らせ

- 検索する曲にジャンル情報が登録されていない場合、「ジャンル」をタップしても、該当の曲は表示されません。

文字を入力して検索する

1 音楽ライブラリ画面で 🔍 をタップする

- クイック検索画面が表示されます。

2 検索ボックスに検索文字を入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

プレイリストを利用する

プレイリストを利用することで、好みの曲を集めて簡単に再生できます。プレイリストは複数作成できます。

プレイリストを作成する

1 音楽ライブラリ画面で、好みの曲を検索する

2 好みの曲の右側にある ◢ をタップする

3 「プレイリストに追加」

- 「プレイリストに追加」メニューが表示されます。

4 操作したい項目をタップする

- 「新しいプレイリスト...」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。
- 登録済みのプレイリストがある場合、該当のプレイリスト名をタップすると、そのプレイリストに追加できます。

お知らせ

- 「アルバム」／「アーティスト」／「ジャンル」で好みの曲を検索した場合、それぞれのジャケット画像の右下にある ◪ をタップすることで、該当のカテゴリーにあるすべての曲をプレイリストに追加できます。

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 音楽ライブラリ画面で「最新」▶「再生リスト」

- プレイリスト一覧が表示されます。

2 いずれかのプレイリストをタップする

- プレイリストに含まれる曲が表示されます。

3 いずれかの曲をタップする

- タップした曲が再生されます。

お知らせ

- プレイリストジャケット画像の右下にある ◪ をタップすると、メニューが表示されます。そこで「再生」をタップすると、プレイリストに含まれる曲を順番に再生できます。

プレイリストを管理する

作成したプレイリストは、後からプレイリスト名や曲名を変更したり、プレイリストに追加した曲を削除できます。

プレイリストの再生順を変更する

1 再生順を変更するプレイリストを開く

2 再生順を変更する曲の左にある ▦ をドラッグする

- 該当の曲がドラッグ位置に変更され、再生順も変更されます。

プレイリストから曲を削除する

1 プレイリスト一覧画面で、削除する曲が含まれるプレイリストの名前をタップする

- 該当のプレイリストに含まれる曲が表示されます。

2 削除する曲の右側にある ◪ をタップする

3 「プレイリストから削除」

- プレイリストから削除されます。

プレイリストを削除する

1 **プレイリスト一覧画面で、削除するプレイリストの名前をタップする**

2 **「削除」**

- 確認画面が表示されます。

3 **「削除」**

- プレイリストが削除されます。

ファイル管理

ファイル操作について

FOMA端末とパソコンをUSBデータケーブル（試供品）で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末でデータのやりとりしたりできます。一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

- 本FOMA端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 11以上が必要です。
  - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
    http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
  - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
    http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/download
- FOMA端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。

お知らせ

- ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7／Windows Vista／Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- パソコンでFOMA端末内のファイルを操作するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。
  - USBデータケーブル（試供品）
  - 専用のドライバ

  USBケーブルは、専用のUSBデータケーブル（試供品）をご使用ください。パソコンのUSBケーブルはコネクタ部分の形状が異なるため使用できません。

FOMA端末内のフォルダーについて

FOMA端末とパソコンを接続すると、FOMA端末が「L-06C」という名前で認識されます。その中に、Device Storageというフォルダーがあります。FOMA端末からはDevice Storageを表示させることはできません。
FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を保存したときや、インターネットから画像、音楽などのデータをダウンロードしたときなど、そのファイルに対応したフォルダーがFOMA端末のDevice Storageに自動的に作成されます。

- FOMA端末とパソコンの接続方法について、詳しくは「FOMA端末とパソコンを接続する」(P89)をご参照ください。
- お買い上げ時のDevice Storageのフォルダー構成は次のとおりです。
  - Alarms
  - DCIM
  - Download
  - Movies
  - Music
  - Notification
  - Pictures
  - Podcasts
  - Ringtones

お知らせ

- カメラで撮影した静止画や動画はDevice Storageの「DCIM」フォルダーに、パソコンのWindows Media Playerと同期した音楽データは「Music」フォルダーに保存されます。
- FOMA端末のDevice Storageフォルダーに保存されているお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。パソコンとの接続方法について、詳しくは「ファイル管理」(P83)、もしくは「外部機器接続」(P89)をご参照ください。
- パソコンなど他の機器からFOMA端末のDevice Storageに保存したデータは、FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、FOMA端末からパソコンに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。

フォルダーやファイルの操作

パソコンとデータをやりとりする

1 USBデータケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続する（P89）
- FOMA端末が自動で認識されます。

2 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「L-06C」▶「Device Storage」を選択する
- FOMA端末内のフォルダー一覧が表示されます。

3 FOMA端末とパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップする

Windows Media Playerとデータを同期する

パソコンのWindows Media Playerのライブラリと音楽や動画を同期できます。著作権保護付きの音楽や動画は、この方法によって著作権情報とともにFOMA端末に同期できます。

1 USBデータケーブル（試供品）でFOMA端末とパソコンを接続する（P89）
- FOMA端末が自動で認識されます。

2 パソコン側でWindows Media Playerを起動する
- FOMA端末名「L-06C」が入ったポップアップ画面が表示されます。

3 Windows Media Playerで「同期」タブをクリックする

4 同期する音楽や動画をライブラリからFOMA端末にドラッグ＆ドロップする

5 Windows Media Playerで「同期の開始」をクリックする

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください。
- データの読み込みや書き込み中に、USBデータケーブルを抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

Bluetooth通信

本FOMA端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」(P129)をご覧ください。
- Bluetoothの設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

- 本FOMA端末と他のBluetoothデバイスとは、見通し距離10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境(壁、家具など)、建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetoothデバイスの使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetoothデバイスをかばんに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、BluetoothデバイスとFOMA端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- 場合によっては、事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではFOMA端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しているため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
  - 10m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスキー(PIN)について

- Bluetooth機能のパスキー(PIN)は、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側/受信側とも同一のパスキー(最大16文字の半角英数字)を入力する必要があります。
- 本FOMA端末ではパスキーを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能をONにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」

2 「Bluetooth」にチェックマークを付ける

- Bluetooth機能がONになります。

3 「端末名」をタップして端末名を入力▶「OK」

4 「検出可能」にチェックマークを付ける

5 「検出可能時間のタイムアウト」▶「2分」／「5分」／「1時間」／「なし」のいずれかをタップする

- 設定した検出可能時間内で、FOMA端末が別のBluetoothデバイスから検出可能になります。
- 「なし」を選択した場合、FOMA端末は常に別のBluetoothデバイスから検出可能な状態になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

他のBluetoothデバイスとペアリング／接続する

FOMA端末と他のBluetoothデバイスをBluetooth機能で接続し、データのやりとりを行うには、あらかじめ他のデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本FOMA端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「Bluetooth設定」▶「付近のデバイスの検索」

- 検出されたBluetoothデバイスの一覧画面が表示されます。

2 接続したいデバイスをタップする

- Bluetoothデバイスにパスキー（PIN）が設定されている場合、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。その場合、Bluetoothデバイス名の下に「接続」と表示されます。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、次回の接続時にはパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合はペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。

他のデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合、「ペア設定する」をタップするか、必要な場合は、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

接続を解除する場合

1 「ペアリングされたデバイス」の一覧で、接続中のデバイスをタップする

・ 確認画面が表示されます。

2 「OK」

ペアリングを解除する場合

1 「ペアリングされたデバイス」の一覧で、ペアリングを解除したいデバイスの をタップ ▶「ペアを解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

・ あらかじめ本FOMA端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

連絡先（vcf形式の名刺データ）、予定表、仕事などのデータや静止画、動画などのファイルを、他のBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

・ 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 FOMA端末を検出可能な状態にする

2 ステータスバーに （Bluetooth共有：ファイル着信）が表示されたら、 をタップする

・ ファイルを受信するかどうかの確認画面が表示されます。

3 「承諾」をタップする

・ データの受信が開始されます。
・ 受信が完了したら、ステータスバーに が表示されます。 をタップして表示されるポップアップ画面をタップすると、外部から転送されたデータが一覧表示されます。

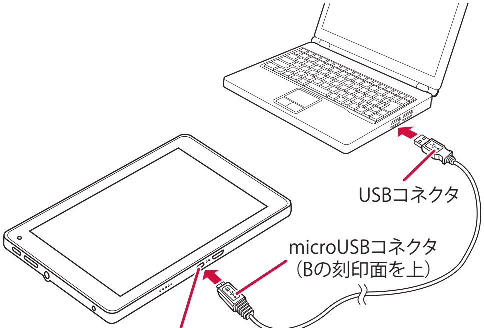
外部機器接続

FOMA端末とパソコンを接続する

ご使用のパソコンに専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていることを確認してください。専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていないと、FOMA端末がパソコンに正常に認識されない可能性があります。動作環境について、詳しくは「ファイル操作について」（P83）をご参照ください。

1 USBデータケーブル（試供品）のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、Bの刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。



2 USBデータケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- FOMA端末が自動で認識されます。
- 設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択してください。

3 パソコン側で「マイ コンピュータ」を開き、「L-06C」▶「Device Storage」を選択する

- FOMA端末内のフォルダー一覧が表示されます。

4 FOMA端末とパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップする

お知らせ

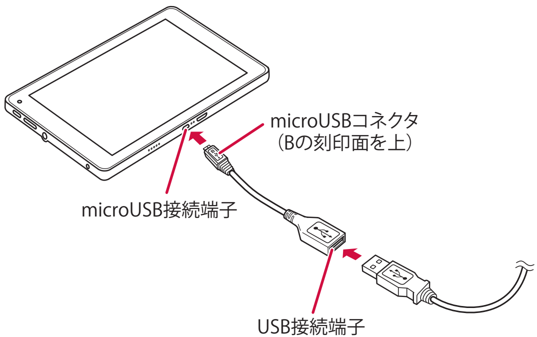
- データの読み込みや書き込み中に、FOMA端末の電源を切らないでください
- データの読み込みや書き込み中、USBデータケーブルを抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

FOMA端末と他のUSB機器を接続する

付属のmicroUSB-USB A変換アダプタ L01に接続することで、標準型のUSBキーボード、マウス、ジョイスティック（PC用）、PTP方式のデジタルカメラなどを利用することができます。その他のUSBデバイスはFOMA端末で正常に機能しない場合があります。

1 接続するUSBデバイスのUSBコネクタをmicroUSB-USB A変換アダプタ L01のUSB接続端子に差し込む

- USBコネクタとmicroUSB-USB A変換アダプタ L01の刻印のある面を合わせて水平に差し込んでください。



2 microUSB-USB A変換アダプタ L01のmicroUSBコネクタをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、Bの刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

3 以降の操作については、接続するUSBデバイスの取扱説明書をご覧ください

お知らせ

- ジョイスティック（PC用）を使用するには、専用のアプリケーションが必要です。詳細については、接続するジョイスティック（PC用）に添付されている個別の取扱説明書をご覧ください。
- PTP方式のデジタルカメラを本FOMA端末へ接続すると、自動でギャラリーが起動します。デジタルカメラで撮影した写真をPicasaやBluetooth、Gmail、メール※で送信したり、FOMA端末へインポートしたりできます。
  ※ メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

アプリケーション

マーケット

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「マーケット」

- サービス規約が表示されます。これは、初めてAndroidマーケットを開く場合のみ表示されます。

2 「同意する」

- Androidマーケットが開きます。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。パケット通信を切断するには、ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」をタップし、「データ通信を有効にする」のチェックマークを外します。
- Androidマーケットについての情報が必要な場合には、Androidマーケットを開いた状態で ▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションを検索する／インストールする

1 **目的のアプリケーションを検索する**

- 「Androidアプリ」画面で「マーケットを検索」ボックスをタップすると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。

2 **アプリケーション名をタップする**

- アプリケーションの情報が表示されます。右側には、説明、最新情報、スクリーンショット、動画、レビュー、デベロッパー、関連アイテムが表示されます。レビューには、すでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

3 **インストール操作を続けるには「ダウンロード」（無料アプリケーションの場合）または「購入」（有料アプリケーションの場合）をタップする**

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示されます。

4 **「OK」**

- ダウンロードされ、自動的にインストールされます。インストールが完了すると、ステータスバーの通知領域にコンテンツダウンロードアイコンが表示されます。

お知らせ

- 内容をよくご確認ください。アプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。
- 有料アプリケーションの場合には、購入が必要です。購入方法について詳しくは「アプリケーションを購入する」（P93）をご参照ください。
- ダウンロードに長い時間を要する場合、「マイアプリ」をタップして表示される画面で進捗状況を確認できます。
- アプリケーションの多くは数秒でインストールが終了しますが、長い時間ダウンロードが終了しない場合には、「マイアプリ」▶●件を停止（●は数字）をタップすることで、ダウンロードを中止できます。
- ダウンロードおよびインストールが正常に終了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知アイコンをタップし、通知のポップアップ画面をタップしてください。インストールされたアプリケーションが開きます。

アプリケーションを更新する

インストールしたアプリケーションが更新された場合、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。また、「マイアプリ」画面で更新されたことが確認できます。いずれの場合でも更新されたことを確認した場合、更新操作が行えます。

1 ステータスバーに が表示されたら、 をタップする

- 更新通知のポップアップ画面が表示されます。

2 更新通知をタップする

- 「ダウンロード」画面が表示されます。

3 更新されているアプリケーションをタップする

- インストールと同様の手順でアプリケーションが更新できます。

お知らせ

- 「Androidアプリ」画面で「マイアプリ」をタップすると「マイアプリ」画面が表示されます。更新されたアプリケーションには「アップデート」と表示されます。アプリケーションをタップすることで、インストールと同様の手順で更新することができます。

アプリケーションをアンインストールする

インストールしたアプリケーションは、任意にアンインストールできます。

1 「マイアプリ」画面で、いずれかのアプリケーションをタップする

- アプリケーションの情報が表示されます。

2 「アンインストール」

アプリケーションを購入する

有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前に購入してください。規定時間試用することができます。購入後規定の時間内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。

お知らせ

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスでもすべて無料でダウンロードできます。

アプリケーションの購入

1 購入するアプリケーションをタップする

- アプリケーションの機能やすでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

2 「購入」

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するか表示されます。
- 初回購入時には、「Google Checkout」ページが表示されます。画面の表示に従い、クレジットカード番号など必要な情報を入力し「保存して次へ」をタップしてください。
「Google Checkout」は、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。
Google Checkoutについて詳しくは、
http://checkout.google.com/をご参照ください。

3 お持ちのGoogle Checkoutアカウントに複数のクレジットカードアカウントを使用している場合は、いずれかのアカウントを選択する

4 「利用規約」をタップする

5 「払い戻しに関するポリシー」リンク、「Googleの請求とプライバシーポリシー」リンクをタップし、読み終えたら ◀ をタップする

6 「OK」

- アプリケーションのダウンロードとインストールが行われ、Androidマーケットホームページに戻ります。

お知らせ

- Google CheckoutはGoogleのサービスです。
- FOMA端末にはGoogle Checkoutパスワードが記録されるため、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは、「現在地情報とセキュリティ」(P56)をご参照ください。
- アプリケーションに満足できない場合、購入後規定の時間内であれば返金を要求できます。なお、アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Androidマーケットの画面で ▤ ▶「ヘルプ」▶「アプリケーションの購入」の各項目をご覧ください。

返金とアプリケーションの削除

1 「Androidアプリ」画面で「マイアプリ」

- 「マイアプリ」画面が表示されます。

2 アンインストールするアプリケーションをタップする

- 「アンインストールと払い戻し」画面が表示されます。

3 「アンインストール」

- アプリケーションを削除する理由を質問するメニューが表示されます。なお、メニューが表示されない場合、試用期間が終了しています。

4 いずれかの理由をタップして「OK」

マップ

「マップ」では、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。Googleマップを開くと、近くの基地局からの情報により、おおよその現在地が表示されます。GPSで現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

お知らせ

- 現在地を取得する前にGPS機能を有効にしてください。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G／Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-FiおよびGPSを使用する方法があります。Wi-Fiでは、高速で現在地の測位ができますが、正確さに欠けることがあります。GPSを使用すると、多少時間を要することはありますが、正確な測位ができます。現在地を測位する場合には、Wi-FiとGPSの両方を有効にすることで、双方の長所を活かすことができます。

GPSとは

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信してFOMA端末の位置情報を取得する機能です。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所･環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカ周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

お知らせ

- 本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。
- 現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。
- 測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナを覆わないようにしてください。
- GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度要することがあります。

GPS機能を有効にする

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**

2 **「GPS機能を使用」にチェックマークを付ける**

3 **「同意する」**

- GPS機能が有効になります。

Wi-Fiによる現在地検索を有効にする

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**

2 **「無線ネットワークを使用」にチェックマークを付ける**
- 「位置情報についての同意」メニューが表示されます。

3 **「同意する」**
- Wi-Fiを使用するアプリケーションで位置検索が使用できます。

お知らせ
- Wi-Fiを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

マップを開く

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「マップ」**
- Googleマップが開きます。
- 以下の方法で地図を拡大／縮小できます。

ピンチアウト／ピンチイン	2本の指で広げると拡大、つまむと縮小できます。
ダブルタップ	2回続けてタップすると、拡大できます。
2本指でタップ	2本指でタップすると、縮小できます。

現在地を特定する

1 **マップ画面で をタップする**
- 現在地が地図上に青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

現在地のストリートビューに表示を切り替えることができます。

1 **マップ画面でストリートビューを表示したい部分を1秒以上タッチする**

- ふきだしが表示されます。

2 **ふきだしをタップ ▶ [アイコン] をタップする**

- ストリートビューが表示されます。

お知らせ

- ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応地域の場合、[アイコン] はグレー表示となります。
- 「ストリートビュー」画面をドラッグすると、表示する方角を変更できます。ピンチアウト／ピンチインすると、表示を拡大／縮小することができます。[アイコン] をドラッグすると、表示する場所を移動できます。
- ストリートビューを表示している状態で、[アイコン] ▶「コンパスモード」をタップすると、本FOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

特定の場所を検索する

1 **マップ画面で「地図を検索」ボックスをタップし、検索する場所を入力する**

- 検索文字として住所の他に、地名、施設名（例：東京　美術館）を指定できます。
- 「地図を検索」ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが表示されます。リストをタップし、その位置を表示することもできます。

2 **[アイコン] をタップする**

- 該当する場所が地図上にアイコン表示されます。

3 **場所のアイコンをタップする**

- ふきだしに地名や施設名が表示されます。

4 **ふきだしをタップする**

- 詳細情報が表示されます。

  [アイコン]：マップ画面に戻ります。
  [アイコン]：表示している場所へのナビを開始したり経路を検索します。
  [アイコン]：ストリートビューを表示します。
  [アイコン]：その他のオプションを表示します。

- 表示される情報や利用できるオプションは、場所により異なります。

お知らせ

- 音声入力により検索することもできます。詳しくは「音声検索」（P113）をご参照ください。

レイヤを変更する

地図上に複数の情報を重ねて表示できます。

レイヤを追加する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。各レイヤでは、以下の情報が表示されます。

渋滞状況	渋滞状況を表示します。ただし、提供地域は限定されています。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
バズ	該当の地域に設定されている口コミ、写真、動画などの共有情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。詳しくは「Latitudeに参加する」（P101）をご参照ください。
地図をクリア	表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

その他のレイヤ	**マイマップ**	パソコンで作成したマイマップが閲覧できます。マイマップは本FOMA端末からは閲覧のみで、作成はできません。
	ウィキペディア	W を表示します。W をタップすると、その場所に関するウィキペディアの記事が閲覧できます。
	路線図	路線情報を表示します。ただし、提供地域は限定されています。

レイヤを削除する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 チェックマークが付いているレイヤをタップする

- チェックマークが外れ、レイヤが削除されます。

経路を調べる

目的地への詳しい経路を表示できます。

1 マップ画面で をタップする

2 「現在地」ボックスに出発地を入力 ▶「到着地」ボックスに目的地を入力する

- それぞれのボックスの右にある をタップするとメニューが表示され、「現在地※」「連絡先」「地図上の場所」から出発地、到着地を選択することもできます。
  ※「到着地」の場合は表示されません。

3 移動の方法として ／ ／ のいずれかをタップする

4 「実行」

- 目的地への経路がリスト表示されます。

5 いずれかの経路をタップする

- 選択した経路が表示されます。

お知らせ

- 自動車や徒歩、自転車で経路検索した場合、経路が地図で表示されます。
- 「経路」の下に表示されるアイコンをタップすると、移動方法として「車」／「公共交通機関」／「徒歩」／「自転車経路」が選択できます。
- が表示された場合、 タップすると、Googleマップナビが起動し、目的地までの経路案内が開始されます。
- をタップすると、「出発地」／「目的地」を変更できます。
- 公共交通機関で経路検索した場合、「目的地」の下に経路の候補が三つ表示されます。いずれかの経路をタップすると、乗車時刻や乗り換えの電車、駅の名前、利用金額などの詳細が表示されます。
- 自動車や徒歩、自転車で経路検索した場合、「目的地」の下に表示される項目をタップすると、方向転換などの経路上のポイントが地図で表示されます。
- をタップすると、「出発日時」／「到着日時」／「最終」などで経路が検索できます。
- 「より早い時刻」または「より遅い時刻」をタップすることで前後の時間の経路が検索できます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 「地図をクリア」

- 表示されたレイヤや経路検索結果がクリアされます。

お知らせ

- クリアする内容がない場合、「地図をクリア」はグレー表示となり、タップできません。
- マップ画面で をタップし、チェックマークが付いているレイヤをタップしてチェックマークを外すことで、特定のレイヤだけをクリアすることもできます。
- マップ画面で ▶「地図をクリア」をタップしても、表示されたレイヤや経路検索結果をクリアすることがます。

Latitude

Google Latitudeを利用すると、地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。
位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「Latitude」

- 初めてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーに関する確認メッセージが表示されます。

2 「Google プライバシーポリシー」のリンクをタップ ▶ 内容を読み終えたら「×」

3 ▶「Latitudeに参加」▶「許可および共有」

- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

お知らせ

- マップ画面で Latitude をタップしても、Latitudeを開くことができます。

Latitudeを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「Latitude」

- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

友だちを招待して位置情報を共有する

Latitudeに参加すると、自分の位置情報を友だちと共有できます。自分が招待した友だちや自分を招待した友だちにだけ位置情報を知らせることができます。

1 Latitude画面で 

- 「友だちを追加」メニューが表示されます。

2 いずれかの項目をタップする

- 「連絡先から選択」をタップすると、すべての連絡先がリスト表示されます。
- 「メールアドレスから追加」をタップすると、招待する友だちのメールアドレスが入力できます。複数のメールアドレスを登録するには、それぞれのメールアドレスをカンマで区切って入力してください。

3 いずれかの連絡先をタップするか、メールアドレスを入力して「友だちを追加」をタップする

- 共有リクエストの送信確認ダイアログボックスが開きます。

4 チェックマークが付いていることを確認して「はい」をタップする

- 共有リクエストの送信対象から除外する相手はタップしてチェックマークを外します。
- 友だちがすでにLatitudeを利用している場合は、友だちにはLatitude画面にメールリクエストや通知が届きます。Latitudeに参加していない場合は、GoogleアカウントでLatitudeに参加するようGmailあてにメールリクエストが届きます。

招待に応じる

友だちからLatitudeで位置情報を共有する招待を受けたときは、次の中から選択できます。

受け入れて自分の現在地も教える	お互いに位置情報を見ることができます。
受け入れるが自分の所在地は教えない	友だちの位置情報を見ることができるものの、友だちからは自分の位置情報を見ることができません。
承認しない	お互いの位置情報は共有されません。

友だちの現在地を確認する

友だちの現在地を地図かリストで確認できます。マップを開くと、友だちの現在地が表示されます。

- 友だちはそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。
- 友だちが都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友だちのアイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。
- 友だちがトークを利用している場合は、友だちの写真の下に丸いアイコンが現れ、オンラインステータス（オンライン、取り込み中など）が表示されます。Googleトークについて、詳しくは「トーク」（P71）をご参照ください。
- 友だちの写真をタップすると、ふきだしに友だちの名前が表示されます。ふきだしをタップすると、友だちの詳細情報や接続オプションを見ることができます。
- Latitudeを開くと、Latitudeの友だちリストが、最後に取得された位置情報、ステータスなどとともに表示されます。リストの友だちをタップすると、画面が開いて、友だちの詳細情報や接続オプションを見ることができます。

友だちとの接続と接続の管理

地図上で友だちの連絡先情報のふきだしをタップするか、リスト表示された友だちをタップして、友だちのプロフィールを開きます。プロフィール画面で、友だちと通信したりプライバシー設定をすることができます。

（地図で見る）	友だちの現在地を地図上で表示します。
（経路を検索）	友だちの現在地までの経路を検索します。 ・「ナビを開始」をタップすると、Googleマップナビ画面が開きます。 ・「経路を検索」をタップすると、現在地から友だちのいる場所への経路を表示できます。
（ストリートビューを表示）	ストリートビュー画面を表示します。
（連絡先を表示）	・連絡先に登録されていない場合、連絡先へ登録するかどうかの確認画面が表示されます。 ・連絡先に登録済みの場合、連絡先、Gmailアイコンが表示され、タップすると連絡先、Gmail画面が開きます。
チェックインリクエストの送信	チェックインをリクエストする通知を友だちに送信します。 なお、友だち側の端末またはソフトウェアバージョンなどによっては、この機能を使えないことがあります。

リアルタイム更新	「15分」「30分」「60分」間隔で、友だちの場所をリアルタイムで更新できます。 なお、友だち側の端末のソフトウェアバージョンなどによっては、この機能を使えないことがあります。
共有オプション	「最新の現在地を教える」「都市レベルの現在地のみ共有」「この友だちに現在地を教えない」のいずれかを選択します。 「都市レベルの現在地のみ共有」を選択すると、都市レベルの現在地のみを共有し、ストリートレベルでは共有しません。友だち側では、写真アイコンは現在地の都市の中央に表示されます。
この友だちを削除	友だちをリストから削除し、位置情報の共有を完全に停止します。

共有情報を管理する

友だちへの見え方や見える時間を管理できます。Googleアカウントには、Latitudeに最後に送られた位置情報だけが保存されます。Latitudeを停止したり、情報を非公開にしている場合は、位置情報は保存されません。

1 Latitude画面で自分の名前をタップ ▶「プライバシー設定を編集」

- プライバシー設定は以下の中から選択できます。

現在地送信	**現在地を検出**	移動すると、Latitudeが位置を自動的に検出して位置情報を更新します。更新の頻度は、内蔵電池の充電レベルやいつ移動したかなど、いくつかの要素に基づき決定されます。
	現在地を設定	住所を入力したり連絡先から選んだりした相手と共有する位置情報を設定します。地図上の地点を指定するか、Latitudeで改めて現在地情報の共有を行います。
	現在地を検出しない	すべての友だちに位置情報を非公開とします。
ロケーション履歴の設定	**ロケーション履歴を有効にする**	過去の位置情報を保存し、Latitudeウェブサイトで表示します。

チェックイン設定	**自動チェックインを有効にする**	指定した場所にチェックインします。
	チェックイン通知を有効にする	チェックインをおすすめする場所の通知を有効にします。
	場所の管理	自動チェックインや非通知設定の場所を確認、変更できます。
アカウント設定	**Latitudeからログアウト**	Latitudeを停止し、位置情報やステータスの共有を停止します。Latitudeにはいつでも参加できます。

ナビ

Googleマップナビ（ベータ版）は、音声ガイダンス付きの経路案内ソフトです。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「ナビ」

- サービス規約が表示されます。「このメッセージを再表示する」にチェックマークをつけると、次回以降も同じメッセージが表示されます。

2 「同意する」

- Googleマップナビが開き、メニューが表示されます。

3 いずれかの項目をタップする

目的地を入力または選択すると、経路案内が開始されます。

- 「目的地を音声入力」：声で目的地を検索
- 「目的地を入力」：目的地を文字で入力
- 「連絡先」：連絡先に登録されている住所を検索
- 「スター付きの場所」：Googleマップでスターを付けた場所を検索
- （経路オプション）：高速道路や有料道路を使うかどうかを設定
- ：マップを表示

お知らせ

- 運転中の操作は同乗者が行ってください。

プレイス

プレイスを利用すると、現在地の近くのレストランや、カフェ、バー、アトラクション施設、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「プレイス」

- プレイスが開きます。

2 「レストラン」／「カフェ」／「居酒屋」／「観光スポット」／「ATM」／「ガソリン」／「近くを検索」のいずれかをタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると、詳細な情報が表示されます。

お知らせ

- マップ画面で をタップしてもプレイスを開くことができます。
- 「追加」▶ 検索する文字を入力 ▶「追加」をタップすると、検索条件を追加できます。

アラーム

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「時計」▶「アラームを設定」

2 「アラームの設定」をタップする

3 アラームの時刻を設定して「設定」

- アラーム設定画面が表示されます。

4 アラームのオプションを設定して「完了」

- アラーム画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。アラームのオプションとしては以下の設定ができます。

アラームをONにする	チェックマークを付けるとアラームが有効になり、チェックマークを外すと無効になります。
時刻	設定時刻が変更できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音が設定できます。
ラベル	設定したアラームにラベルを付けることができます。

5 「完了」

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止できます。また、「スヌーズ」をタップすると、10分後に再び動作します。

カレンダー／スケジュール

本FOMA端末にはスケジュールを管理するためのカレンダーが用意されています。Microsoft Exchange Serverにより構築されているスケジューラー、Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「カレンダー」

- カレンダー画面が表示されます。

カレンダー表示を変更する

1日／1週間／1ヶ月表示に変更する

1 カレンダー画面で「日」

- 1日表示になります。

2 カレンダー画面で「週」

- 1週間表示になります。

3 カレンダー画面で「月」

- 1ヶ月表示になります。

お知らせ

- 1ヶ月表示では上下にスワイプすると、前後の月が表示されます。1日表示、1週間表示では左右にスワイプすると前後の日、週が表示されます。
- カレンダー画面で 今日 をタップすると、システム日付に基づき、今日の欄をハイライト表示できます。

予定を表示する／作成する

予定を表示する

1 カレンダー画面で表示する予定をタップする

- 予定画面が表示され、「詳細」をタップすると、詳細内容が表示されます。

予定を作成する

1 カレンダー画面で [icon]

- 予定作成画面が表示されます。画面表示に従い各項目を入力し､「完了」をタップしてください。

お知らせ

- 作成した予定の時刻が近づくと、ステータスバーに [icon] が表示されます。[icon] をタップして通知のポップアップ画面を開き、「通知を消去」をタップすると、通知が消去されます。
「すべてスヌーズ」をタップすると、「デフォルトの通知時間」で設定した時刻後に再度通知します。「デフォルトの通知時間」について、詳しくは「カレンダーの設定を変更する」（P108）をご参照ください。

カレンダーの設定を変更する

1 カレンダー画面で [icon] ▶「設定」

- 「設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音、デフォルトの通知時間の設定などが行えます。

電卓

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「電卓」

- 電卓画面が表示されます。

2 数値および算術演算子を入力する

- 結果が表示されます。

お知らせ

- [icon] をタップすると直前に入力した数値または演算子が1文字ずつ削除されます。また [icon] を1秒以上タッチすると、入力したすべての情報が削除されます。

LG World

1　ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「LG World」

- 「LG World」画面が開きます。

LG Worldのメニュー

LG Worldでは以下のメニューが表示されます。

項目	説明
Hot & New	Hot & New 画面を表示します。
Apps	Apps画面を表示します。
動画	動画画面を表示します。
検索	検索画面を表示します。
マイアプリ	マイアプリ画面を表示します。

YouTube

YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。

1　ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「YouTube」

- 「YouTube」画面が開きます。
  - YouTubeを検索：キーワードを入力して動画を検索
  - アップロード：FOMA本体のカメラで動画を撮影してYouTubeにアップロード
- 動画をアップロードするには、YouTubeアカウントでログインする必要があります。

2　再生したい動画をタップする

- 動画が再生されます。
  - ：再生
  - ：全画面表示に切り替え
  - HD：高画質（HQ）再生と低画質再生を切り替え

Catalyst Mobile Reader

Catalyst Mobile Readerを利用して、FOMA端末に保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを閲覧することができます。また、表示中のファイルをBluetoothやGmailで送信したり、ファイル内で任意の文字列を検索することができます（2011年7月現在）。

- CATALYST MOBILE® Readerはカタリスト・モバイル株式会社の製品です。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「Catalyst Mobile Reader」

- 起動画面表示後、「ドキュメント選択」画面が開きます。起動画面は、初回起動時にのみ表示されます。

お知らせ

- 閲覧可能なデータの種類であっても、作成したソフトウェアやアプリケーションのバージョンによっては表示できない場合があります。
- ドキュメントによってパソコンでの表示と異なって表示される場合があります。
- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。

ファイルの種類と形式

種類	拡張子
Microsoft Word (Word 97 ～ Word 2007)	doc, docx
Microsoft Excel (Excel 97 ～ Excel 2007)	xls, xlsx
Microsoft PowerPoint (Power Point 2000 ～ PowerPoint 2007)	ppt, pptx
Adobe PDF (Version 1.2 ～ 1.5)	pdf

Movie Studio

FOMA端末に保存している複数の静止画や動画に音楽をインポートしたり、エフェクトを付けたりして一つの映画として編集することができます。また、編集した映画をBluetoothやGmailで送信したり、YouTubeにアップロードすることもできます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「Movie Studio」

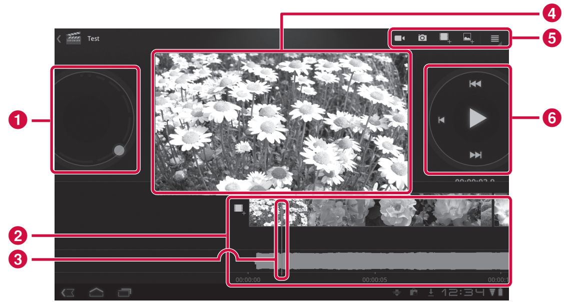
- 「Android Movie Studio」画面が開きます。

2 いずれかのプロジェクトをタップする

- プロジェクト編集画面が表示されます。
- 初回起動時には、「新しいプロジェクト」▶ プロジェクト名を入力▶「OK」を順にタップすることで、プロジェクト編集画面を表示させることができます。

編集画面の見かた

動画編集画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。



❶ **タイムコントローラ**
タイムコントローラの●をドラッグして、プロジェクトのタイムラインの間隔を調整することができます。

❷ **タイムライン**
タイムラインに合わせて、静止画や音楽、動画の並び順の指定、長さの調節、およびエフェクト、タイトル、トランジションの設定などができます。

❸ **基準線**
編集したい静止画や動画をここに配置します。

❹ **プレビュー画面**
基準線に位置している写真または動画を表示します。

❺ **メインメニュー**

：カメラが起動し、動画撮影ができます。

：カメラが起動し、静止画の撮影ができます。

：ギャラリーに保存されている動画の選択ができます。

：ギャラリーに保存されている静止画の選択ができます。

：その他のメニューが表示されます。音楽のインポートやプロジェクト名の変更、プロジェクトの削除、編集したプロジェクトのエクスポート、エクスポートしたプロジェクト※1の再生やBluetooth、Gmail、メール※2での送信、YouTubeへのアップロードなどができます。

※1 エクスポートしたプロジェクトがある場合のみ、以降のメニューが表示されます。

※2 メールアカウントを登録している場合のみ表示されます。

❻ **再生コントローラ**

編集したプロジェクトの再生／一時停止、巻き戻し、早送りなどができます。

取扱説明書

本FOMA端末の操作は、本書のほかに、FOMA端末にプリインストールされている取扱説明書閲覧ソフトからもご確認できます。項目によっては、説明ページからダイレクトに内容参照や機能起動を行うことができます。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「取扱説明書」**

ダウンロード

本FOMA端末はインターネットから画像や音楽、ウェブページなどをダウンロードできます。ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生するには以下の操作を行ってください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「ダウンロード」

- ダウンロードしたファイルが一覧表示されます。

2 確認するファイルの名前をタップする

- ダウンロードしたファイルが表示／再生されます。

お知らせ

- ダウンロード方法はウェブページによって異なる場合があります。ウェブページの指示に従ってファイルをダウンロードしてください。
- SSLで通信するウェブページや認証を必要とするウェブページに含まれるファイルはダウンロードできないことがあります。

音声検索

Google音声検索機能を利用して、連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを検索できます。詳細は、「音声で検索する」（P42）をご参照ください。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。

- **対応エリアについて**
  本FOMA端末は3Gネットワークおよび GSM ／ GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- **海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。**
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
  - 『ドコモ海外利用』アプリケーションのヘルプ

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国 地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

通信サービス	3G	GSM ／ GPRS	GSM
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

（○：利用可能　×：利用不可）

※1　ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定をONにしてください。（P117）
※2　GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

● **ご契約について**
WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● **料金について**
- 海外でのご利用料金（パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行なうものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますので、各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

● **接続について**
「通信事業者」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスまたは定額データプランへのご加入が必要です。
詳細は「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ネットワーク設定を変更するには以下の操作を行います。
ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」▶「ネットワークを検索」／「自動選択」
※「モバイルネットワーク設定」画面で、「2Gネットワークのみ使用」にチェックマークを付けた場合、GSM／GPRSネットワークにのみ接続されます。

● ディスプレイの表示について

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
	GPRS接続中／使用中
	3G（パケット）接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、ステータスのポップアップで確認できます。

● 日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」と「タイムゾーンを自動設定」のチェックボックスにチェックマークを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→P65

● お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモ UIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通信・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

2 「2Gネットワークのみ使用」のチェックマークを外す

- 3GネットワークおよびGSM ／ GPRSネットワークの両方がご利用できます。

3 「通信事業者」▶「自動選択」

- 接続できる通信事業者を自動で検出します。

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本FOMA端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。
お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

- データ通信中に、ネットワークの設定や海外通信事業者を変更した場合、切り替え動作を実行するが失敗し、もとの画面に戻ります。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」

- 「利用可能なネットワーク」画面が表示され、通信事業者名のリストが表示されます。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。
- 「2Gネットワークのみ使用」（P115）にチェックマークが付いているかどうかにより、表示される通信事業者名は異なります。

2 接続する通信事業者名をタップする

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、FOMA端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定してください。

接続できる通信事業者を自動で選択する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」

2 「自動選択」

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」

2 「データローミング」にチェックマークを付ける

- 注意のメッセージが表示されます。

3 「OK」

付録／索引

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L23
- ACアダプタ L01※
- microUSB-USB A変換アダプタ L01
- ドッキングステーション L01
- チルト式レザーケース L01

※ ACアダプタの充電方法について→P23

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P125）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

カテゴリ	症　状	チェック
電源	FOMA端末の電源が入らない	• 電池切れになっていませんか。 →P22
充電	充電ができない	• ACアダプタ L01の電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 • ACアダプタ L01をご使用の場合、ACアダプタのコネクタがFOMA端末またはドッキングステーション L01（別売）に正しく接続されていますか。 • ドッキングステーション L01をご使用の場合､FOMA端末のドッキングステーション端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。 • 充電しながら通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
	画面に「充電してください」と表示される	• 電池残量が少ない場合は充電してください。→P22
端末操作	操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や内蔵電池、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
	電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。
	電源断・再起動が起きる	• 本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお問い合わせください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	キーを押しても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。 →P56
	キーを押したときの画面の反応が遅い	• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末内で容量の大きいデータを処理しているときなどに起きる場合があります。
	ドコモUIMカードが認識しない	• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P20
	時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「日付と時刻の自動設定」と「タイムゾーンを自動設定」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

カテゴリ	症　状	チェック
端末操作	端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 電源がOFFの状態から電源ボタンを押し、docomoロゴ画面が表示されている間、音量キー（右）を押し続けてください。 ※ セーフモードが起動するとホーム画面の左下端に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。 • 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 • お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 • セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

カテゴリ	症　状	チェック
画面	ディスプレイが暗い	• 画面バックライト消灯時間を設定していませんか。→P56 • 画面の明るさ調整を変更していませんか。→P56 • 電池残量が少なくなっていませんか。→P22
カメラ	カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

カテゴリ	症　状	チェック
海外利用	海外でFOMA端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 • WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、「ご利用ガイドブック（国際サービス編）」またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 - 「2Gネットワークのみ使用」のチェックマークを外す（P116） - 「通信事業者」を「自動選択」に設定する（P117） • FOMA端末の電源を「OFF」にした後、再び「ON」にすることで回復することがあります。
	海外でデータ通信ができない	• データローミング設定をONにしてください。（P117）

カテゴリ	症　状	チェック
海外利用	海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった	• 利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
データ管理	データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
	画像表示しようとすると「×」が表示されるまたはデモプレビューで「×」が表示される	• 画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。
Bluetooth機能	Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。 →P87

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
通信サービスなし	• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。 • ドコモUIMカードが正しく機能していません。ドコモUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
SIMカードがロックされています	PINコード（P59）を正しく入力してください。
ユーザーガイドを参照するか、お客様サポートにお問い合わせください	PUK（PINロック解除コード）（P59）を正しく入力してください。
メモリ不足です	空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P93）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化･消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

調子が悪い場合は

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶･コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後４年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。

- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、マイク部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

最新のソフトウェアに更新することで、最新の拡張機能を入手することができます。
モバイルネットワーク接続またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、FOMA端末から直接ワイヤレスで更新を自動でダウンロードします。ダウンロードが完了すると「システムアップデート」画面が表示されます。

お知らせ

- 必ず最新のソフトウェアをご利用ください。
- ソフトウェア更新はデータ接続（3G、またはWi-Fi）を使用して、自動的に更新ファイルのダウンロードを行います。3G経由はパケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスまたは定額データプランのご利用を強くおすすめします。
- パソコンを用いてのソフトウェア更新はできません。
- モバイルネットワーク接続を使用してFOMA端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前にFOMA端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所用時間は本FOMA端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。
- 更新の前に電池をフル充電してください。
- 詳しくは、以下をご覧ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

OSバージョンアップについて

FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。最新のOSバージョンでは、各種設定や機能がさらに向上され、また、新しい機能やアプリケーションが追加されることもあります。

ご利用にあたっての注意事項

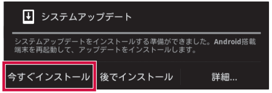
- OSバージョンアップを行うと、前のバージョンに戻すことはできません。
- 更新ファイルは大容量になり、料金定額サービスに未加入の場合はパケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスまたは定額データプランのご利用を強くおすすめします。
- バージョンアップファイルのダウンロード（通信）は自動で開始されます。本FOMA端末ご購入時には、ドコモショップや量販店などの購入店舗において、発着信のテストなど初期手続きを行う際に、ダウンロード（通信）が開始される可能性があります。
- 古いOSバージョンで使用していたアプリケーションの新しいOSバージョンでの動作は保証いたしかねます。アプリケーションの対応OSなどをご確認の上、OSバージョンアップを行ってください。
- OSバージョンアップはデータを残したまま行うことができますが、万が一のトラブルに備え、大切なデータは必ずパソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」（P83）、もしくは「外部機器接続」（P89）をご参照ください。
  また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。
- ダウンロードデータなどコンテンツによっては、著作権保護のためバックアップ／リストアができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、お客様データに関して、当社としては一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- OSバージョンアップを行うと、お客様ご自身でインストールされたアプリケーションが使用できなくなる場合があります。
- OSバージョンアップの前に電池をフル充電してください。
- OSバージョンアップを行う前に、実行中のすべてのアプリケーションを終了してください。
- 日本国外からはOSバージョンアップが行えない場合があります。
- FOMA端末のメモリ空き容量が不足している場合、OSバージョンアップは行えません。不要なアプリケーションを削除（P93）して容量を確保してください。
- OSバージョンアップ中は、絶対にFOMA端末の電源を切らないでください。故障の原因となります。
- OSバージョンアップ中は、すべての機能（データ通信を含む）を利用することはできません。
- OSバージョンアップに失敗した場合、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合は、大変お手数ですが、ドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。
- OSバージョンアップ後はFOMA端末の設定が初期化されます。
  OSバージョンアップ完了後、再度設定を行ってください。

最新のOSバージョンに更新する

モバイルネットワークまたはWi-Fiネットワークに接続している場合、インターネット経由で、OSバージョンアップファイルのダウンロード（通信）が自動で開始されます。ダウンロードが完了すると「システムアップデート」画面が表示されます。
以降の操作手順については、「ソフトウェア更新を今すぐインストールする」（P127）、「ソフトウェア更新を後でインストールする」（P128）、「ソフトウェア更新の詳細を確認する」（P128）をご参照ください。

ソフトウェア更新を今すぐインストールする

1 「システムアップデート」画面で、「今すぐインストール」



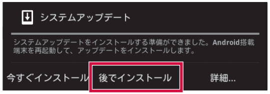
2 「再起動してインストール」



- 再起動して、ソフトウェアが更新されます。

ソフトウェア更新を後でインストールする

1 「システムアップデート」画面で、「後でインストール」



- が表示されます。

ステータスバーのからインストールする

1 をタップ

2 「システムアップデートがあります」のポップアップをタップ



3 「再起動してインストール」



- 再起動して、ソフトウェアが更新されます。

システムアップデートからインストールする

1 ホーム画面で「アプリ」▶「すべて」▶「設定」▶「タブレット情報」▶「システムアップデート」

2 「再起動してインストール」



- 再起動して、ソフトウェアが更新されます。

ソフトウェア更新の詳細を確認する

1 「システムアップデート」画面で、「詳細...」



- アップデートの詳細が表示されます。

主な仕様

■本体

品　名			L-06C
サイズ（H×W×D）			約150mm×約243mm×約12.8mm（最厚部：約14.1mm）
質　量			約620g
メモリ			ROM　32GB RAM　1GB
連続待受時間	3G	静止時（自動）	約900時間
		移動時（3G固定）	-
		移動時（自動）	約690時間
	GSM	静止時（自動）	約750時間
充電時間			ACアダプタ：約310分
ディスプレイ	方式		TFT　16,777,216色
	サイズ		約8.9 inch
	ドット数		横1280ドット×縦768ドット ワイドXGA

撮像素子	種類		CMOS
	サイズ		メインカメラ：1/4.0 inch インカメラ：1/5.0 inch
	有効画素数		メインカメラ：約510万画素 インカメラ：約200万画素
カメラ部	記録画素数（最大時）		メインカメラ：約500万画素 インカメラ：約120万画素
	ズーム（デジタル）		静止画撮影時：最大約4.0倍 動画撮影時：-
静止画記録サイズ	横画面	メインカメラ	2,592×1,944（5M） 2,048×1,536（3M） 1,600×1,200（2M） 1,024×768（1M） 640×480（VGA）
		インカメラ	1,600×1,200（2M） 1,280×960（1M） 640×480（VGA）
動画記録サイズ	横画面	メインカメラ	1,920×1,088（Full HD） 1,280×720（HD） 800×480（WVGA）
		インカメラ	640×480（VGA） 352×288（CIF）
フレームレート			最大30fps
音楽再生	MP3ファイル		連続再生時間：約4800分 （バックグランド再生対応）

無線LAN		IEEE802.11b/g/n※1準拠
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.3.0※2
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 2
	見通し通信距離※3	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※4	HSP、OPP、HID、A2DP、AVRCP

※1 IEEE802.11nの2.4GHz周波数帯のみ対応しています。

※2 本FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※3 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※4 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- インターネット接続を行うと通信・待受時間は短くなります。また、通信やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通信・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、内蔵電池が空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	5.2V
公称容量	6,400mAh

ファイル形式

本FOMA端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
Audio	MP3、AAC+、eAAC+、WAV、OGG、MIDI
Image	JPEG、GIF、PNG、BMP、WBMP
Video	MPEG4、H.263、H.264、VP8

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	FOMA端末に保存できる撮影枚数
2,592×1,944（5M）	最大約20,000枚

■ 動画の録画時間（目安）

解像度	FOMA端末に保存できる撮影時間
1,280×720（HD）	最大約34分（1件あたり） 最大約7.6時間（合計）

FCC Radio Frequency (RF) Information

WARNING! Read this information before operating the device.

In August 1996, the Federal Communications Commission (FCC) of the United States, with its action in Report and Order FCC 96-326, adopted an updated safety standard for human exposure to Radio Frequency (RF) electromagnetic energy emitted by FCC regulated transmitters. Those guidelines are consistent with the safety standard previously set by both U.S. and international standards bodies. The design of this device complies with the FCC guidelines and these international standards.

Bodily Contact During Operation

This device was tested for typical use with the back of the device kept 0 inch (0 cm) from the body.

Vehicle-Mounted External Antenna (Optional, if available.)

To satisfy FCC RF exposure requirements, keep 8 inches (20 cm) between the user / bystander and vehicle-mounted external antenna. For more information about RF exposure, visit the FCC website at www.fcc.gov.

Caution

Use only the supplied antenna. Use of unauthorized antennas (or modifications to the antenna) could impair RF quality, damage the device, void your warranty and/or violate FCC regulations. Don't use the device with a damaged antenna. A damaged antenna could cause a minor skin burn. Contact your local dealer for a replacement antenna.

Consumer Information About Radio Frequency Emissions

Your wireless device, which contains a radio transmitter and receiver, emits radio frequency energy during use. The following consumer information addresses commonly asked questions about the health effects of wireless devices.

Are wireless devices safe?

Scientific research on the subject of wireless devices and radio frequency ("RF") energy has been conducted worldwide for many years, and continues. In the United States, the Food and Drug Administration ("FDA") and the Federal Communications Commission ("FCC") set policies and procedures for wireless devices. The FDA issued a website publication on health issues related to cell device usage where it states, "The scientific community at large believes that the weight of scientific evidence does not show an association between exposure to radiofrequency (RF) from cell devices and adverse health outcomes". Still the scientific community does recommend conducting additional research to address gaps in knowledge. That research is being conducted around the world and FDA continues to monitor developments in this field. You can access the joint FDA/FCC website at http://www.fda.gov (under "c" in the subject index, select Cell Devices > Research). You can also contact the FDA toll-free at (888) 463-6332 or (888) INFO-FDA. In June 2000, the FDA entered into a cooperative research and development agreement through which additional scientific research is being conducted. The FCC issued its own website publication stating that "there is no scientific evidence that proves that wireless device usage can lead to cancer or a variety of other problems, including headaches, dizziness or memory loss." This publication is available at http://www.fcc.gov/oet/rfsafety or through the FCC at (888) 225-5322 or (888) CALL-FCC.

What does "SAR" mean?

In 1996, the FCC, working with the FDA, the U.S. Environmental Protection Agency, and other agencies, established RF exposure safety guidelines for wireless devices in the United States. Before a wireless device model is available for sale to the public, it must be tested by the manufacturer and certified to the FCC that it does not exceed limits established by the FCC. One of these limits is expressed as a Specific Absorption Rate, or "SAR." SAR is a measure of the rate of absorption of RF energy in the body. Tests for SAR are conducted with the device transmitting at its highest power level in all tested frequency bands. Since 1996, the FCC has required that the SAR of handheld wireless devices not exceed 1.6 watts per kilogram, averaged over one gram of tissue. Although the SAR is determined at the highest power level, the actual SAR value of a wireless device while operating can be less than the reported SAR value. This is because the SAR value may vary from call to call, depending on factors such as proximity to a cell site, the proximity of the device to the body while in use, and the use of hands-free devices. Before a device model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this device when worn on the body, as described in this user guide, is 0.80 W/kg. While there may be differences between SAR levels of various devices and at various positions, they all meet the government requirement for safe exposure. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model device with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model device is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID BEJL06C. For more information about SARs, see the FCC's OET Bulletins 56 and 65 at http://www.fcc.gov/Bureaus/Engineering_Technology/Documents/bulletins or visit the Cellular Telecommunications Industry Association website at http://www.ctia.org/consumer_info/index.cfm/AID/10371. You may also wish to contact the manufacturer of your device.

Can I minimize my RF exposure?

If you are concerned about RF, there are several simple steps you can take to minimize your RF exposure. You can, of course, reduce your use time. You can place more distance between your body and the source of the RF, as the exposure level drops off dramatically with distance. The FDA/FCC website states that "hands-free kits can be used with wireless devices for convenience and comfort". On the other hand, if the device is mounted against the waist or other part of the body during use, then that part of the body will absorb more RF energy. Wireless devices marketed in the U.S. are required to meet safety requirements regardless of whether they are used against the head or against the body. Either configuration should result in compliance with the safety limit."

Do wireless devices pose any special risks to children?

The FDA/FCC website states that "the scientific evidence does not show a danger to users of wireless communication devices, including children." The FDA/FCC website further states that "some groups sponsored by other national governments have advised that children be discouraged from using wireless devices at all". For example, the Stewart Report from the United Kingdom ["UK"] made such a recommendation in December 2000. In this report a group of independent experts noted that no evidence exists that using a cell device causes brain tumors or other ill effects. The UK's recommendation to limit cell device use
by children was strictly precautionary; it was not based on scientific evidence that any health hazard exists. A copy of the UK's leaflet is available at http://www.dh.gov.uk (search "mobile"), or you can write to: NRPB, Chilton, Didcot, Oxon OX11 0RQ, United Kingdom. Copies of the UK's annual reports on mobile devices and RF are available online at www.iegmp.org.uk and http://www.hpa.org.uk/radiation/ (search "mobile"). Parents who wish to reduce their children's RF exposure may choose to restrict their children's wireless device use.

Where can I get further information about RF emissions?

For further information, see the following additional resources (websites current as of April 2005):

U.S. Food and Drug Administration
FDA Consumer magazine
November-December 2000
Telephone: (888) INFO-FDA
http://www.fda.gov (Under "c" in the subject index, select Cell Devices > Research.)

U.S. Federal Communications Commission
445 12th Street, S.W.
Washington, D.C. 20554
Telephone: (888) 225-5322
http://www.fcc.gov/oet/rfsafety

Independent Expert Group on Mobile Devices
http://www.iegmp.org.uk

Royal Society of Canada Expert Panels on Potential Health Risks of Radio Frequency Fields from Wireless Telecommunication Devices
283 Sparks Street
Ottawa, Ontario K1R 7X9
Canada
Telephone: (613) 991-6990

World Health Organization
Avenue Appia 20
1211 Geneva 27
Switzerland
Telephone: 011 41 22 791 21 11
http://www.who.int/mediacentre/factsheets/fs193/en/

International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection
c/o Bundesamt fur Strahlenschutz
Ingolstaedter Landstr. 1
85764 Oberschleissheim
Germany
Telephone: 011 49 1888 333 2156
http://www.icnirp.de

American National Standards Institute
1819 L Street, N.W., 6th Floor
Washington, D.C. 20036
Telephone: (202) 293-8020
http://www.ansi.org

National Council on Radiation Protection and Measurements
7910 Woodmont Avenue, Suite 800
Bethesda, MD 20814-3095
Telephone: (301) 657-2652
http://www.ncrponline.org

Engineering in Medicine and Biology Society, Committee on Man and Radiation (COMAR) of the Institute of Electrical and Electronics Engineers
http://ewh.ieee.org/soc/embs/comar/

FCC Compliance Statement

FCC Part 15 Class B Compliance

This device and its accessories comply with part 15 of FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device and its accessories may not cause harmful interference, and (2) this device and its accessories must accept any interference received, including interference that causes undesired operation.

Part 15.21 statement

Any changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user's authority to operate the equipment.

Part 15.105 Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity

The product "L-06C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver. It is designed not to exceed the SAR* (Specific Absorption Rate) limits** for exposure to radiofrequency (RF) energy by European Union Directives. The Max. SAR* value is 0.873 W/kg (10 g) when it is worn on the body. To comply with the RF Exposure limits a distance of greater than 0.5 cm must be maintained from the user's body.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

---

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit recommended by the International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP) is 2W/kg averaged over 10g of tissue.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ

Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound and pressure from earphones can causing hearing loss.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「エリアメール」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「eトリセツ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi Certified®とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Androidマーケットおよび Androidマーケット ロゴ、Googleマップ、Google トーク、Google カレンダー、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- CATALYST MOBILE®はカタリスト・モバイル株式会社の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。
  - Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  - AdobeおよびFlashは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ 機内モード→P51

電波を発する機能をすべて無効にします。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

'11.12 (2版)
MFL67222102